



2021年度 第2四半期（中間） 決算説明会【電話会議】

コマツ出席者

代表取締役社長(兼)CEO 小川 啓之

取締役常務執行役員CFO 堀越 健

常務執行役員経営管理部長 森下 正敏

2021年10月28日（木）

目次

I.2021年度 第2四半期（中間）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2021年度 第2四半期（7-9月）の概況
- P7-P8 : 2021年度 上期（4-9月）の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2021年度 上期（4-9月）の状況（概況・セグメント売上高・利益）
- P11 : <リテールファイナンス> 2021年度 上期（4-9月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2021年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

II.2021年度の業績見通し <P14-P29>

- P15-P16 : 2021年度の見通し（概要・セグメント売上高・利益）
- P17-P18 : <建設機械・車両> 2021年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P19 : <リテールファイナンス> 2021年度の見通し
- P20 : <産業機械他> 2021年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P21-P26 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P27-P28 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P29 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P30-P39>

- P31 : Komtrax日次平均稼働時間推移
- P32-P36 : 四半期毎の状況
- P37-P39 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I .2021年度 第2四半期（中間）決算の概要

2021年度 第2四半期（7-9月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+28.9%増収の6,431億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+123.0%増益の745億円、売上高営業利益率は+4.9ポイント上昇し11.6%。
- ・ 純利益は前年同期比+148.3%増益の522億円。

金額単位：億円	2020年7-9月 ¥106.7/USD ¥124.2/EUR ¥15.3/RMB	2021年7-9月 ¥110.3/USD ¥130.6/EUR ¥17.1/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	4,989	6,431	+1,441	+28.9%
セグメント利益	341	739	+397	+116.6%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 6	6	+13	-
営業利益	334	745	+411	+123.0%
売上高営業利益率	6.7%	11.6%	+4.9ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 33	5	+39	-
税引前純利益	300	750	+450	+149.9%
当社株主に帰属する当期純利益	210	522	+312	+148.3%

2021年度 第2四半期（7-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+31.1%増収の5,910億円。セグメント利益は前年同期比+123.9%増益の649億円。セグメント利益率は+4.6ポイント上昇し11.0%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比▲1.8%減収の165億円。セグメント利益は前年同期比+66.1%増益の46億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+2.3%増収の408億円。セグメント利益は前年同期比+83.5%増益の43億円。

□ : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

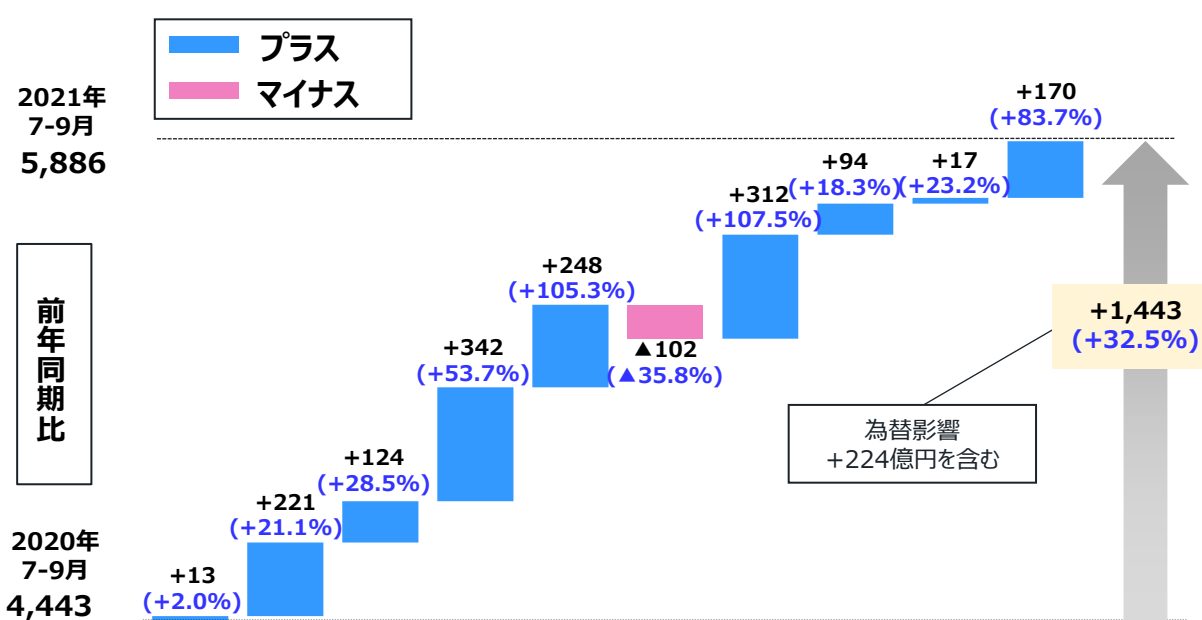
金額単位：億円	2020年7-9月		2021年7-9月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	4,989		6,431		+1,441		+28.9%	
建設機械・車両	(4,443)	4,507	(5,886)	5,910	(+1,443)	+1,402	(+32.5%)	+31.1%
リテールファイナンス	(149)	168	(141)	165	(▲8)	▲3	(▲5.5%)	▲1.8%
産業機械他	(396)	399	(403)	408	(+6)	+9	(+1.7%)	+2.3%
消去	▲85		▲52		+32		-	
セグメント利益	□ 6.8%	341	□ 11.5%	739	□ +4.7% [△]	+397	+116.6%	
建設機械・車両	□ 6.4%	290	□ 11.0%	649	□ +4.6% [△]	+359	+123.9%	
リテールファイナンス	□ 16.6%	27	□ 28.0%	46	□ +11.4% [△]	+18	+66.1%	
産業機械他	□ 6.0%	23	□ 10.8%	43	□ +4.8% [△]	+20	+83.5%	
消去または全社	▲0		▲0		▲0		-	

各セグメントの状況：

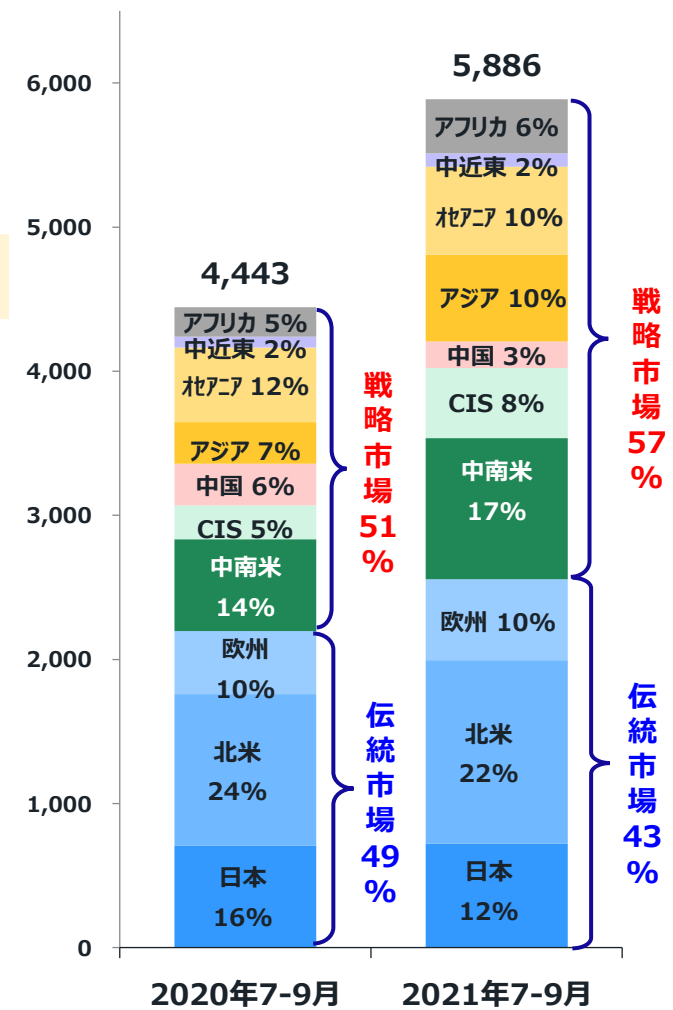
- 建設機械・車両
物量増、為替差および販売価格のプラス影響により増収、物量増等により増益。
- リテールファイナンス
北米におけるオペレーティングリース取引減少等により減収、リースアップ車の評価額の改善等により増益。
- 産業機械他
自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、海外顧客向けの据付け工事の完了等により増収、増益。
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。

<建設機械・車両> 2021年度 第2四半期（7-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+32.5%増収の5,886億円。
- ・中国を除くすべての地域で増加。中南米、アジア、CISで大きく増加。
- ・戦略市場の比率は57%に上昇。



(金額単位：億円)



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2020年 7-9月	708	1,050	437	637	236	287	290	516	75	203	4,443
2021年 7-9月	721	1,272	562	979	484	184	602	610	93	373	5,886
増減	+13	+221	+124	+342	+248	▲102	+312	+94	+17	+170	+1,443

伝統市場

戦略市場

2021年度 上期（4-9月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+34.8%増収の12,914億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+125.9%増益の1,362億円、売上高営業利益率は+4.3ポイント上昇し10.6%。
- ・ 純利益は前年同期比+149.7%増益の931億円。

金額単位：億円	2020年/上期 ¥107.1/USD ¥121.4/EUR ¥15.2/RMB	2021年/上期 ¥110.1/USD ¥131.1/EUR ¥17.0/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	9,577	12,914	+3,336	+34.8%
セグメント利益	607	1,348	+740	+121.9%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 4	14	+18	-
営業利益	603	1,362	+759	+125.9%
売上高営業利益率	6.3%	10.6%	+4.3ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 18	2	+20	-
税引前純利益	585	1,365	+779	+133.2%
当社株主に帰属する当期純利益	372	931	+558	+149.7%
1株当たり配当金（円）	18円	40円	+22円	

2021年度 上期（4-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+35.2%増収の11,853億円。セグメント利益は前年同期比+127.2%増益の1,186億円。セグメント利益率は+4.0ポイント上昇し10.0%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+12.9%増収の369億円。セグメント利益は前年同期比+67.6%増益の78億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+25.8%増収の816億円。セグメント利益は前年同期比+109.6%増益の85億円。

□ % : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年/上期		2021年/上期		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高		9,577		12,914	+3,336		+34.8%	
建設機械・車両	(8,643)	8,765	(11,816)	11,853	(+3,173)	+3,088	(+36.7%)	+35.2%
リテールファイナンス	(289)	327	(289)	369	(▲0)	+42	(▲0.1%)	+12.9%
産業機械他	(644)	649	(808)	816	(+163)	+167	(+25.4%)	+25.8%
消去		▲ 165		▲ 126		+38		-
セグメント利益		6.3%	607	10.4%	1,348	+4.1ポイント	+740	+121.9%
建設機械・車両		6.0%	522	10.0%	1,186	+4.0ポイント	+664	+127.2%
リテールファイナンス		14.3%	46	21.2%	78	+6.9ポイント	+31	+67.6%
産業機械他		6.3%	41	10.5%	85	+4.2ポイント	+44	+109.6%
消去または全社			▲ 2		▲ 2		+0	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量増、為替差および販売価格のプラス影響により増収、物量増等により増益。

■ リテールファイナンス

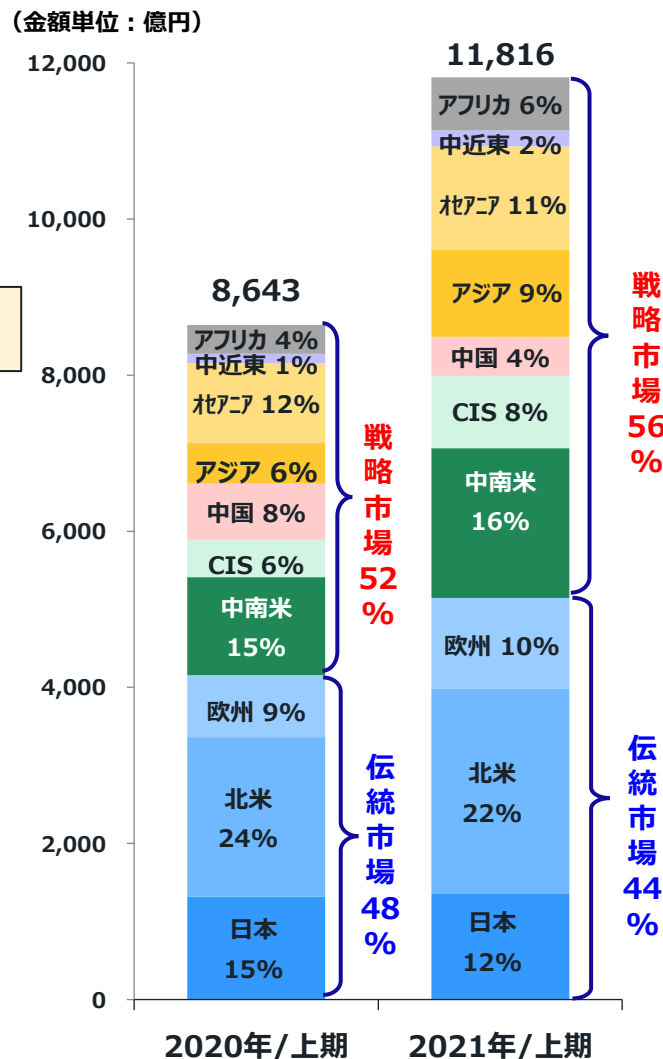
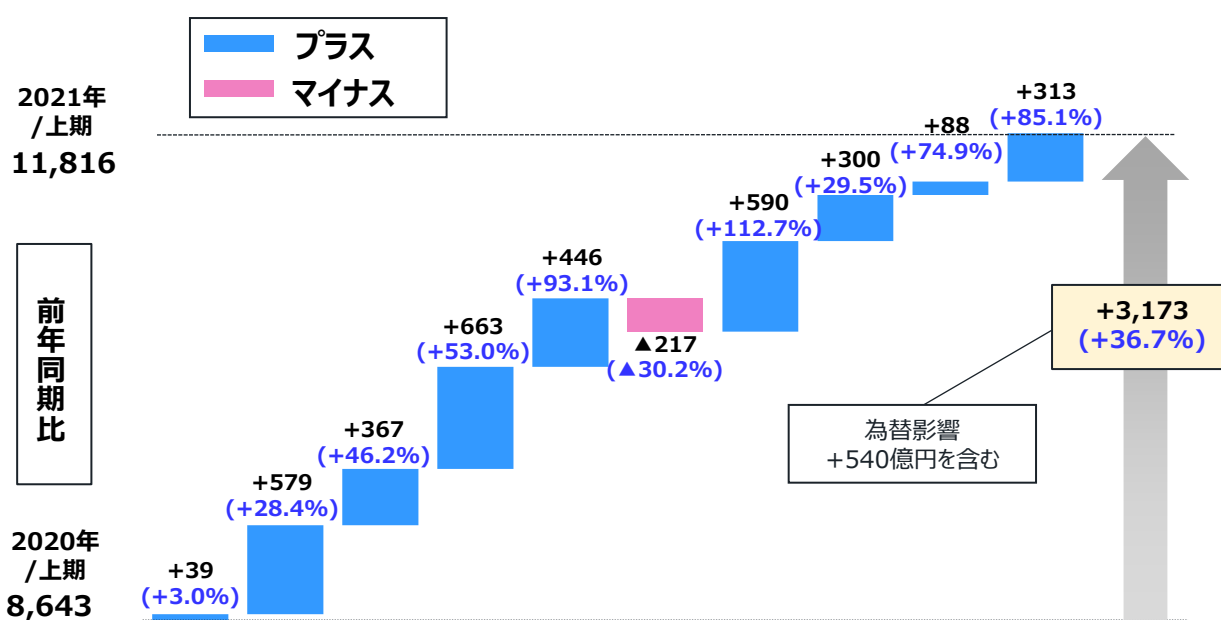
建設機械・車両の販売増に伴う新規取組高の増加により増収、リースアップ車の評価額の改善や前年同期の新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予によるマイナス影響が無くなったこと等により増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、海外顧客向けの据付け工事の完了等により増収、増益。
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。

<建設機械・車両> 2021年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+36.7%増収の11,816億円。
- ・中国を除くすべての地域で増加。北米、中南米、アジア、CISで大きく増加。
- ・戦略市場の比率は56%に上昇。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2020年/上期	1,322	2,041	795	1,253	479	718	523	1,021	118	368	8,643
2021年/上期	1,361	2,620	1,163	1,917	926	501	1,114	1,322	206	681	11,816
増減	+39	+579	+367	+663	+446	▲ 217	+590	+300	+88	+313	+3,173

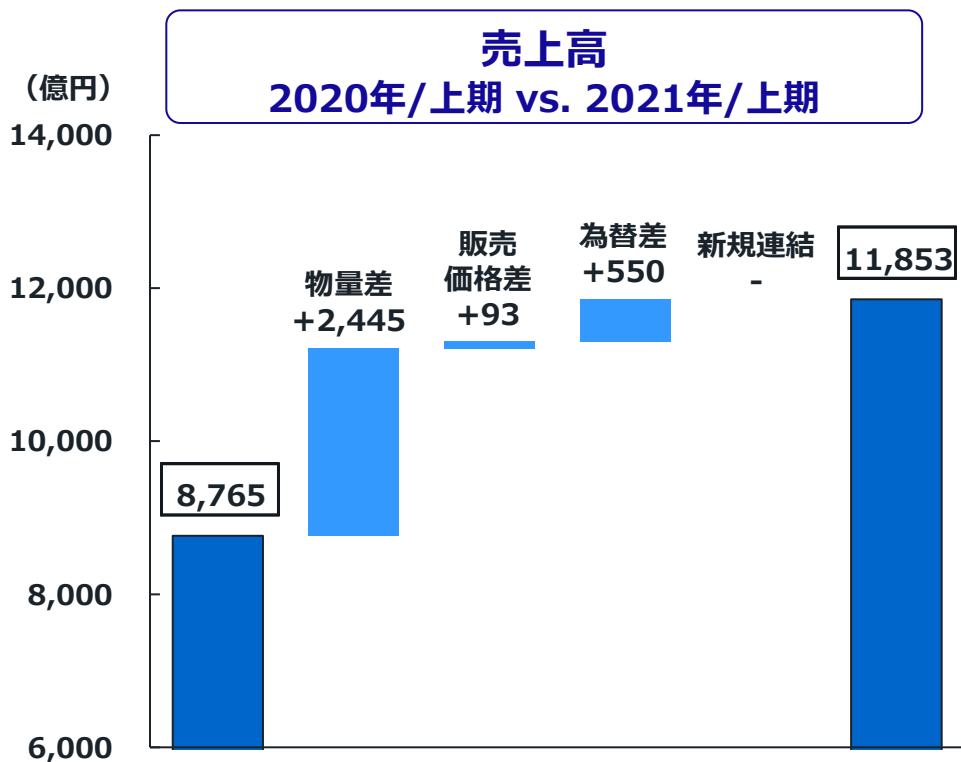
伝統市場

戦略市場

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

<建設機械・車両> 2021年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量増、為替影響および販売価格のプラス影響により、前年比+3,088億円の増収。
- ・セグメント利益は、物量増等により、前年比+664億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+4.0ポイント上昇し10.0%。



2020年/上期

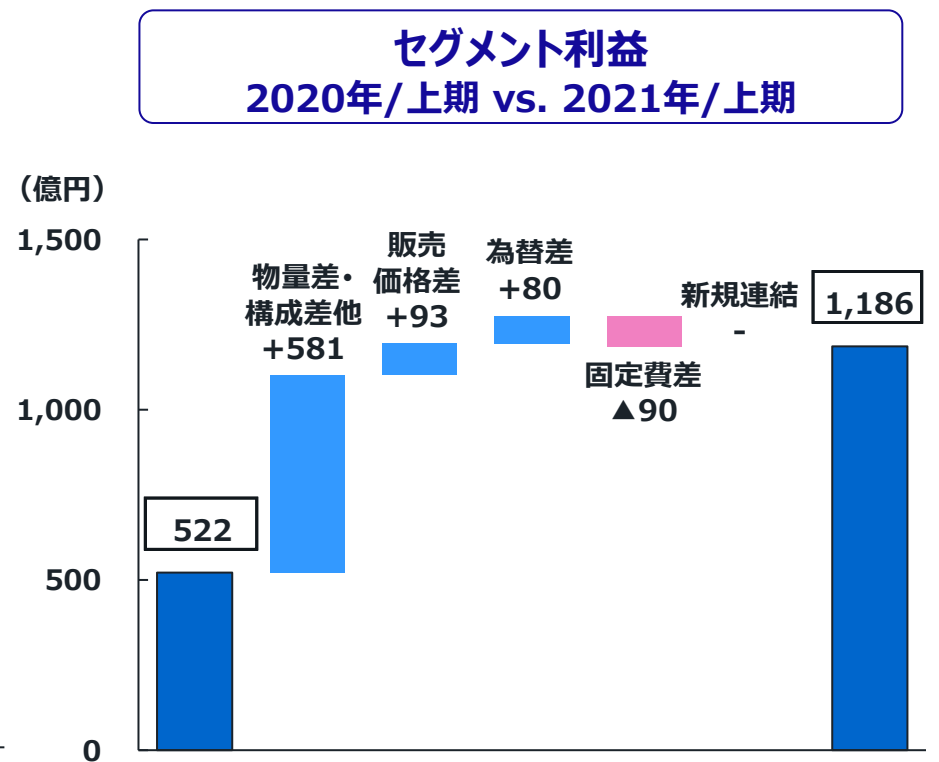
+3,088億円

2021年/上期

¥107.1/USD
¥121.4/EUR
¥15.2/RMB

■ プラス要因
■ マイナス要因

¥110.1/USD
¥131.1/EUR
¥17.0/RMB



2020年/上期

+664億円

2021年/上期

■ プラス要因
■ マイナス要因

6.0%

売上高セグメント利益率

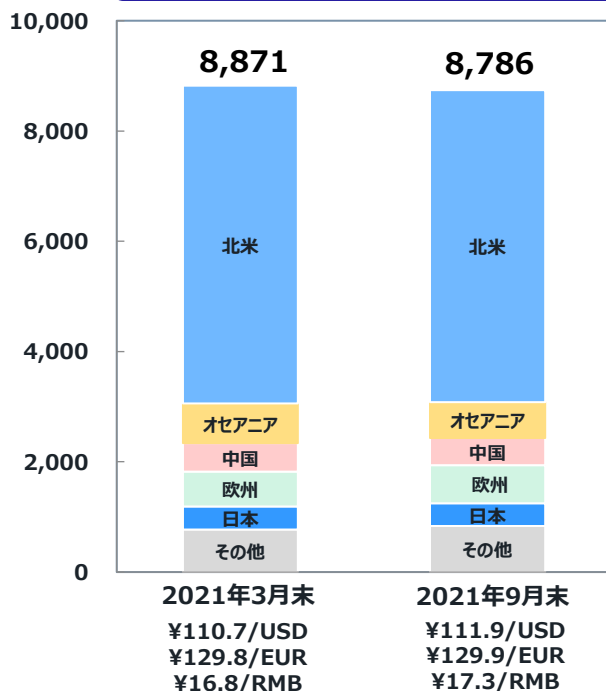
10.0%

<リテールファイナンス> 2021年度 上期 (4-9月) の状況

- ・資産は、前年度末並み。
- ・新規取組高は、建設機械・車両の販売増により、前年同期比+620億円の増加。
- ・売上高は、新規取組高の増加により、前年同期比+42億円の増収。
- ・セグメント利益は、売上高の増加に加え、リースアップ車の評価額の改善や前年同期の新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予によるマイナス影響が無くなったこと等により、前年同期比+31億円の増益。

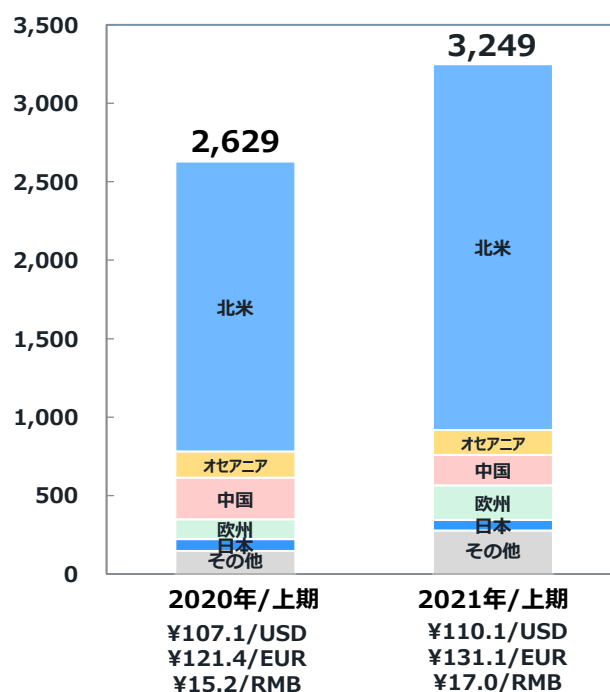
資産

2021年3月末 vs. 2021年9月末



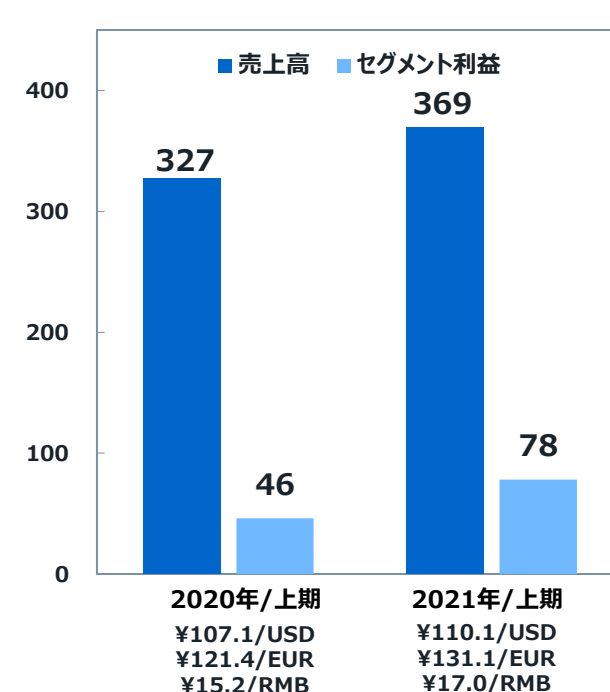
新規取組高

2020年/上期 vs. 2021年/上期



収益

2020年/上期 vs. 2021年/上期

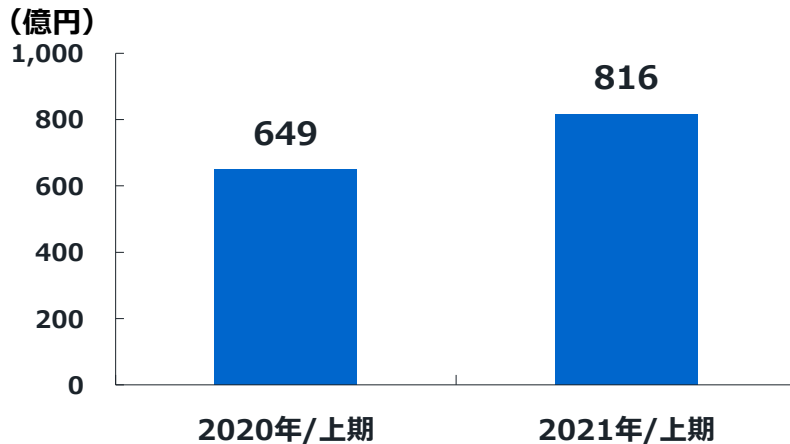


金額単位：億円	2021年3月末	2021年9月末	前年度末比
借入金	6,747	6,666	▲81
ネットベースの借入金	6,723	6,648	▲75
ネットD/Eレシオ	3.69	3.55	▲0.14ポイント

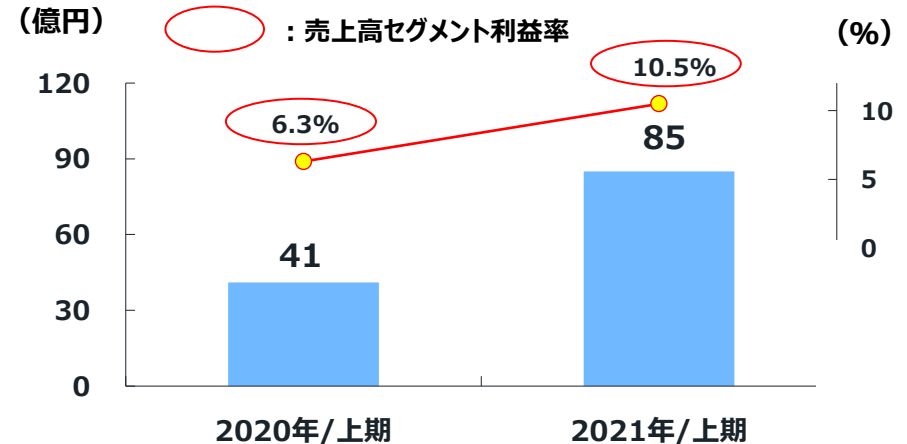
<産業機械他> 2021年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は前年同期比+25.8%増収の816億円、セグメント利益は前年同期比+109.6%増益の85億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は増収、増益。半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調で増収、増益。
- ・売上高セグメント利益率は10.5%。

売上高
2020年/上期 vs. 2021年/上期



セグメント利益
2020年/上期 vs. 2021年/上期



売上高の内訳

(億円)	2020年/上期	2021年/上期	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	167	269	+101	+60.7%
コマツNTC	117	158	+41	+35.0%
ギガフォトン	187	245	+58	+31.0%
その他	177	143	▲33	▲18.8%
合計	649	816	+167	+25.8%

連結貸借対照表

- ・総資産は前年度末比+686億円増加の3兆8,535億円。建設機械・車両の需要増加に伴い棚卸資産が増加。
- ・株主資本比率は前年度末比+1.3ポイント上昇の51.8%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2021年3月末 ¥110.7/USD ¥129.8/EUR ¥16.8/RMB	2021年9月末 ¥111.9/USD ¥129.9/EUR ¥17.3/RMB	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,431	2,740	+308
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	12,675	12,561	▲ 114
棚卸資産	7,938	8,492	+553
有形固定資産	7,873	7,797	▲ 75
その他資産	6,929	6,943	+14
資産合計	37,848	38,535	+686
支払手形・買掛金	2,583	2,689	+106
借入金・社債 [b]	9,099	8,645	▲ 454
その他負債	6,045	6,061	+16
負債合計	17,728	17,396	▲ 331
（株主資本比率）	（50.5%）	（51.8%）	+1.3ポイント
株主資本	19,122	19,977	+854
非支配持分	997	1,161	+164
負債及び純資産合計	37,848	38,535	+686
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○ 0.35 6,668	○ 0.30 5,905	▲ 762
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○ ▲0.00	○ ▲0.04	

Ⅱ.2021年度の業績見通し

2021年度の業績見通し

- ・連結売上高は前年比+22.5%増収の2兆6,830億円（4月見通しから+2,140億円上方修正）、営業利益は前年比+68.5%増益の2,820億円（4月見通しから+570億円上方修正）。
- ・1株当たり配当金は80円（4月見通しから+18円の変更）。

下期為替の前提 1ドル:107円、1ユーロ:126円、1中国元:16.5円に見直し。

金額単位：億円	2020年度 (A) ¥106.0/USD ¥123.4/EUR ¥15.6/RMB	2021年度 (最新見通し) (B) ¥108.5/USD ¥128.6/EUR ¥16.8/RMB	2021年度 (4月見通し) ¥105.0/USD ¥124.0/EUR ¥16.0/RMB	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
連結売上高	21,895	26,830	24,690	+4,934	+22.5%
セグメント利益	1,723	2,820	2,250	+1,096	+63.6%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 50	0	0	+50	-
営業利益	1,673	2,820	2,250	+1,146	+68.5%
売上高営業利益率	7.6%	10.5%	9.1%	+2.9 ¹⁾ 1)	-
その他の収益(▲費用)	▲ 45	▲ 50	▲ 80	▲ 4	-
税引前純利益	1,627	2,770	2,170	+1,142	+70.2%
当社株主に帰属する当期純利益	1,062	1,870	1,460	+807	+76.0%
ROE	5.8%	9.6%	7.6%	+3.8 ¹⁾ 1)	
1株当たり配当金 (円)※	55円	80円	62円	+25円	
連結配当性向	48.9%	40.4%	40.1%		

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

2021年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- 建設機械・車両部門の売上高は、前年比+24.0%増収の2兆4,500億円。
セグメント利益は前年比+73.2%増益の2,490億円。セグメント利益率は+2.9ポイント上昇し10.2%。
- リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+5.4%増収の700億円。セグメント利益は前年比+22.9%増益の130億円。
- 産業機械他部門の売上高は、前年比+9.8%増収の1,880億円。セグメント利益は前年比+16.3%増益の190億円。

☐% : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

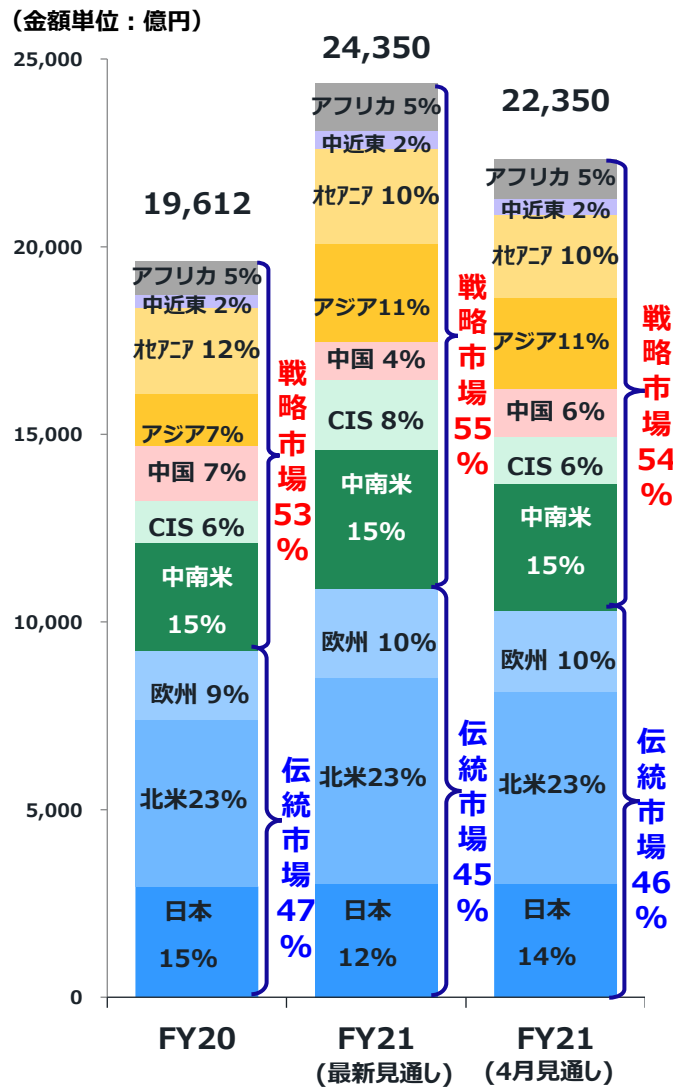
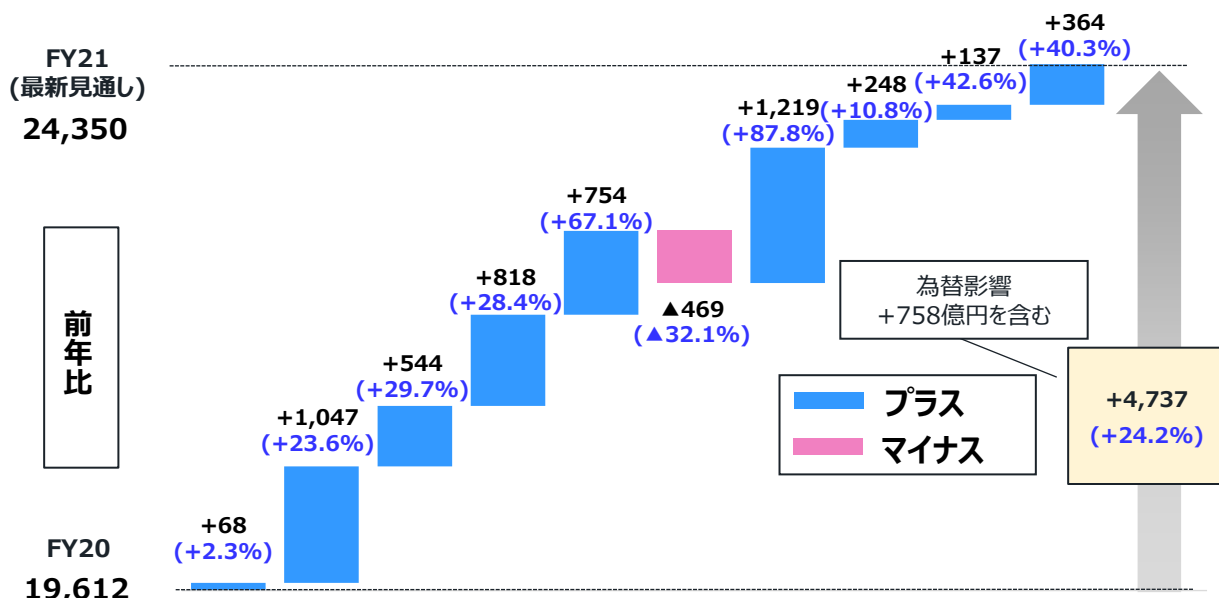
金額単位：億円	2020年度 (A)		2021年度 (最新見通し) (B)		2021年度 (4月見通し)		前年比 (B) - (A)	
							増減	増減率
売上高	21,895		26,830		24,690		+4,934	+22.5%
建設機械・車両	(19,612)	19,759	(24,350)	24,500	(22,350)	22,430	(+4,737) +4,740	(+24.2%) +24.0%
リテールファイナンス	(583)	663	(610)	700	(600)	680	(+26) +36	(+4.5%) +5.4%
産業機械他	(1,699)	1,712	(1,870)	1,880	(1,740)	1,750	(+170) +167	(+10.0%) +9.8%
消去	▲ 240		▲ 250		▲ 170		▲ 9	-
セグメント利益	☐7.9%	1,723	☐10.5%	2,820	☐9.1%	2,250	☐+2.6ポイント +1,096	+63.6%
建設機械・車両	☐7.3%	1,437	☐10.2%	2,490	☐8.8%	1,980	☐+2.9ポイント +1,052	+73.2%
リテールファイナンス	☐15.9%	105	☐18.6%	130	☐17.6%	120	☐+2.7ポイント +24	+22.9%
産業機械他	☐9.5%	163	☐10.1%	190	☐9.7%	170	☐+0.6ポイント +26	+16.3%
消去または全社	16		10		▲ 20		▲ 6	-

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
物量増、為替差および販売価格のプラス影響等により増収、増益。
- リテールファイナンス
新規取組の増加により増収。売上高の増加に伴い増益。
- 産業機械他
自動車業界向けの鍛圧機械、工作機械および半導体市場向けエキシマレーザー関連の売上増加により増収、増益。

<建設機械・車両> 2021年度地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- 外部顧客向け売上高は前年比+24.2%増収の2兆4,350億円。
- 中国を除くすべての地域で増加。北米、中南米、アジア、CISで大きく増加。
- 戦略市場の比率は55%に上昇。



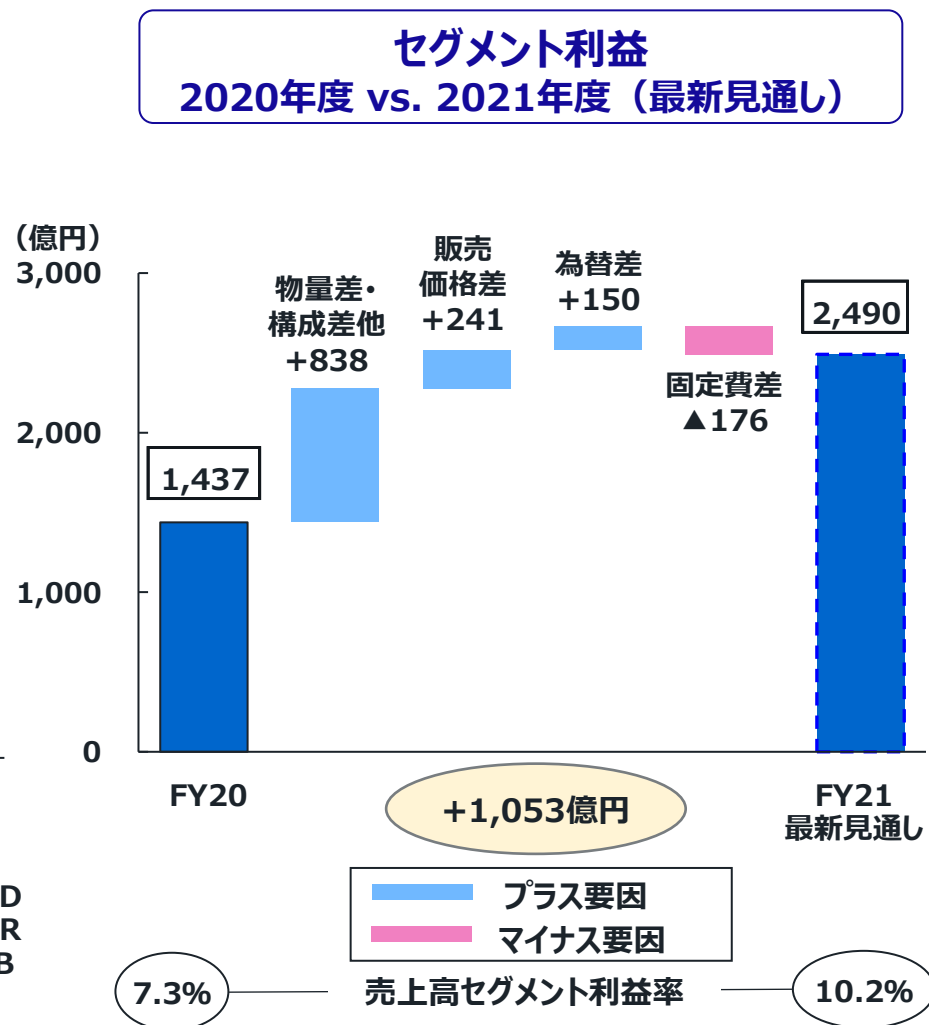
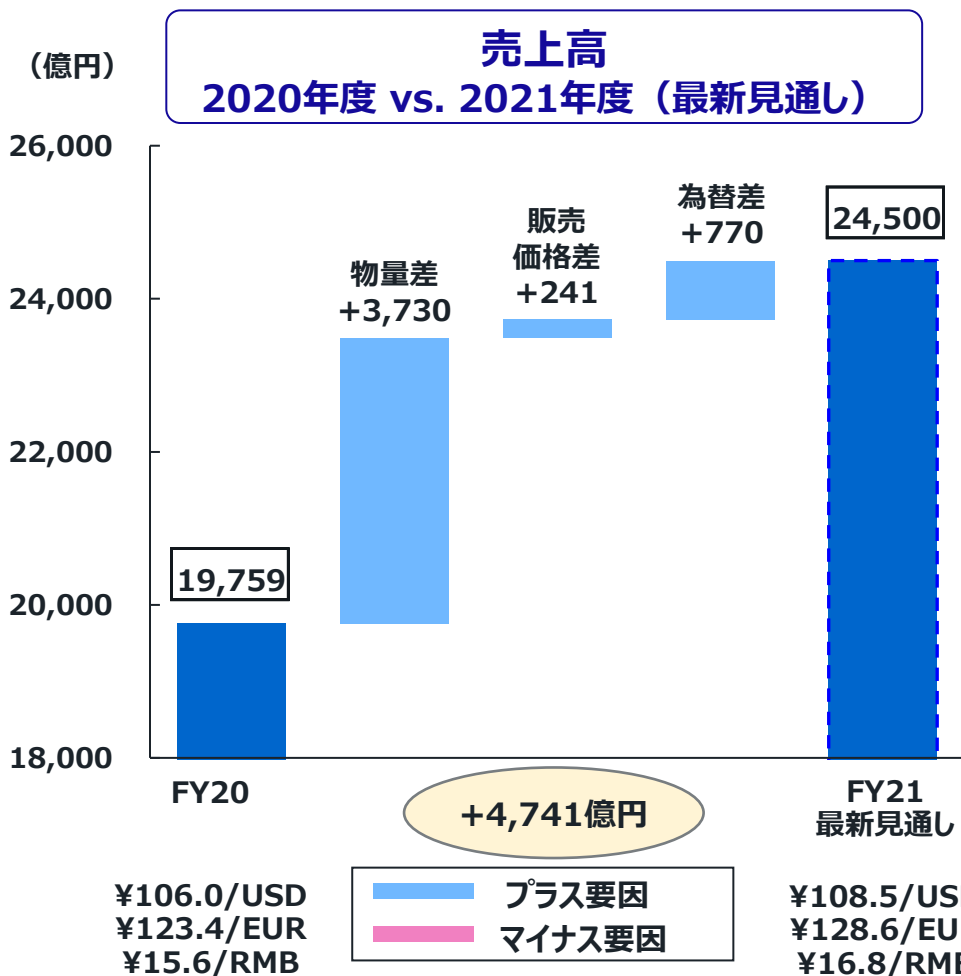
(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2020年度	2,948	4,443	1,835	2,880	1,123	1,462	1,387	2,301	323	904	19,612
2021年度 (最新見通し)	3,017	5,491	2,380	3,699	1,878	993	2,607	2,550	461	1,269	24,350
増減	+68	+1,047	+544	+818	+754	▲469	+1,219	+248	+137	+364	+4,737
	※	※	※	※	※		※	※	※	※	

伝統市場

戦略市場

<建設機械・車両> 2021年度の売上高とセグメント利益の増減要因の見通し

- ・売上高は、物量増、為替影響および販売価格のプラス影響により、前年比+4,741億円の増収。
- ・セグメント利益は、物量増により、前年比+1,053億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年比+2.9ポイント増の10.2%。

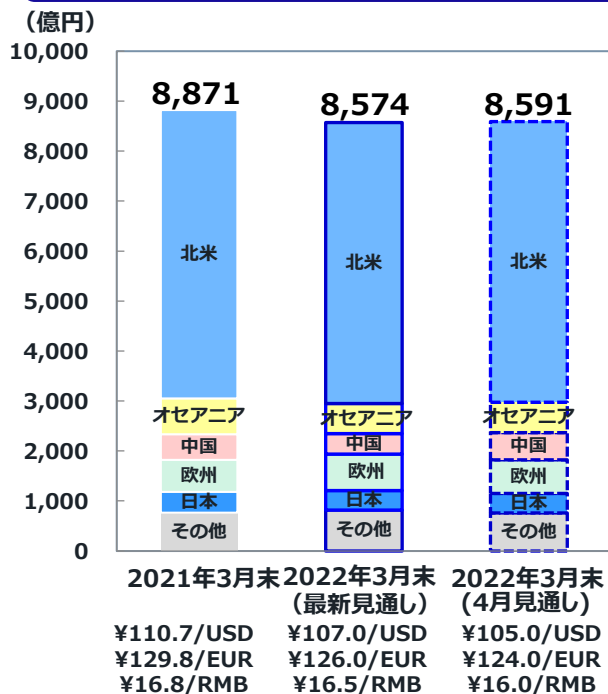


<リテールファイナンス> 2021年度の見通し

- ・資産は、主に為替の影響により前年度末比減少。
- ・新規取組高は、北米、欧州等にて取組拡大し、前年比増加。
- ・売上高は、新規取組高の増加等により、前年比増収。
- ・セグメント利益は、売上高の増加に加え、リースアップ車の評価額の改善や前年度の新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予によるマイナス影響が無くなること等により、前年比増益。

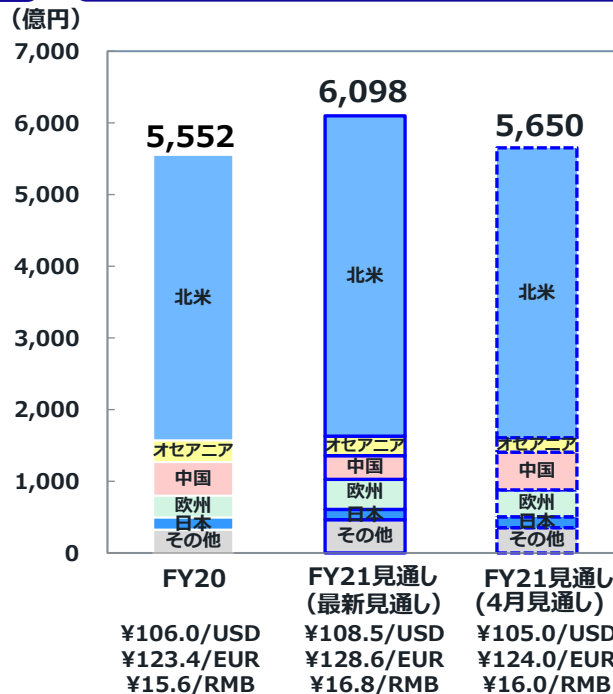
資産

2021年3月末 vs. 2022年3月末 (最新見通し)



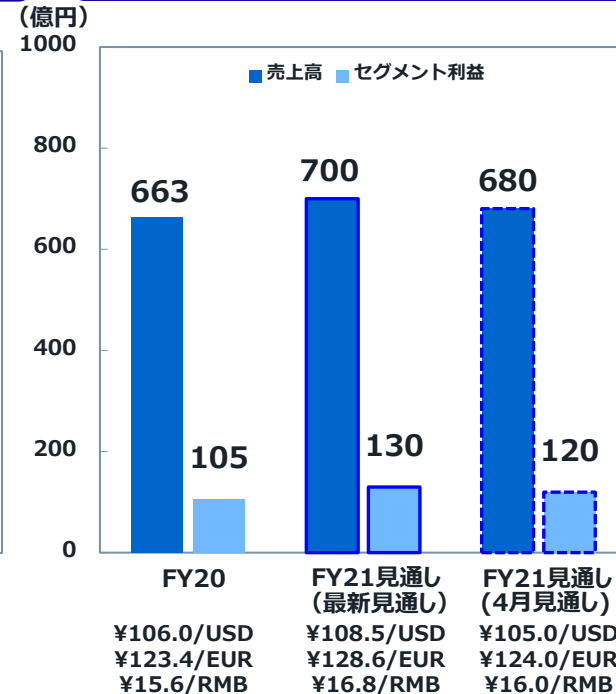
新規取組高

2020年度 vs. 2021年度 (最新見通し)



収益

2020年度 vs. 2021年度 (最新見通し)



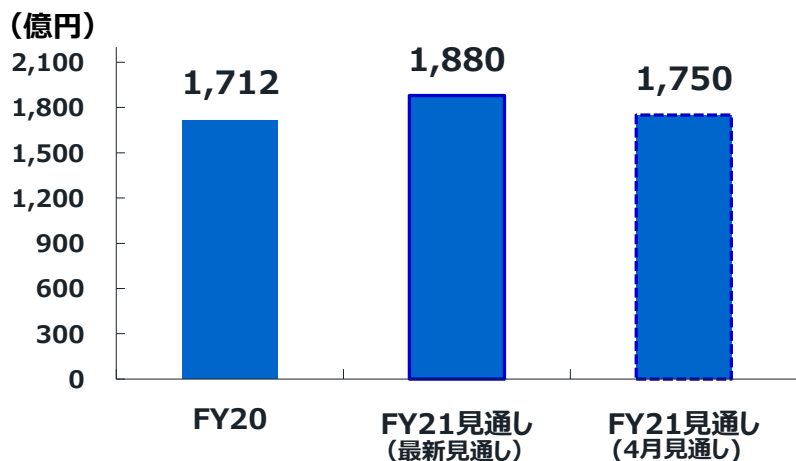
金額単位：億円	2021年3月末 (A)	2022年3月末 (最新見通し) (B)	2022年3月末 (4月見通し)	前年度末比 (B) - (A)
借入金	6,747	6,858	6,897	+111
ネットベースの借入金	6,723	6,779	6,825	+56
ネットD/レシオ	3.69	3.79	3.94	+0.10ポイント

	2020年度	2021年度 (最新見通し)	2021年度 (4月見通し)	前年比
ROA	1.2%	1.5%	1.4%	+0.3ポイント

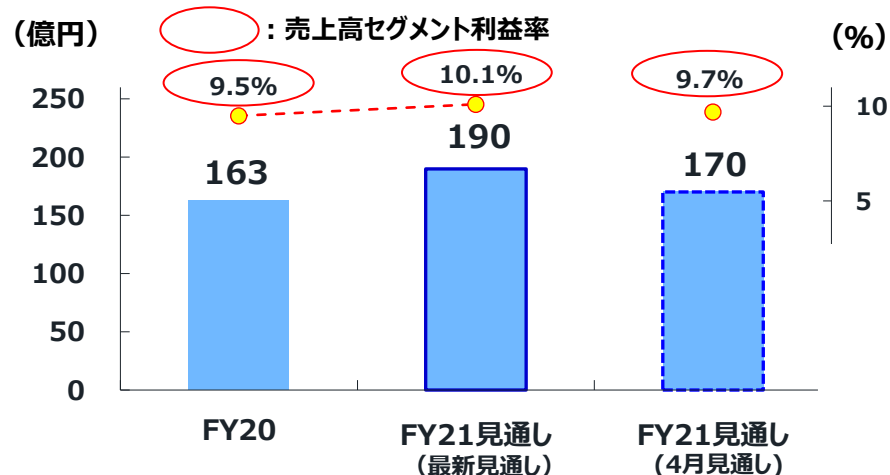
<産業機械他> 2021年度の売上高とセグメント利益の見通し

- ・売上高は前年比+9.8%増収の1,880億円、セグメント利益は前年比+16.3%増益の190億円。
- ・自動車業界向けの鍛圧機械、工作機械および半導体市場向けエキシマレーザー関連の売上増加により増収、増益。

売上高
2020年度 vs. 2021年度（最新見通し）



セグメント利益
2020年度 vs. 2021年度（最新見通し）



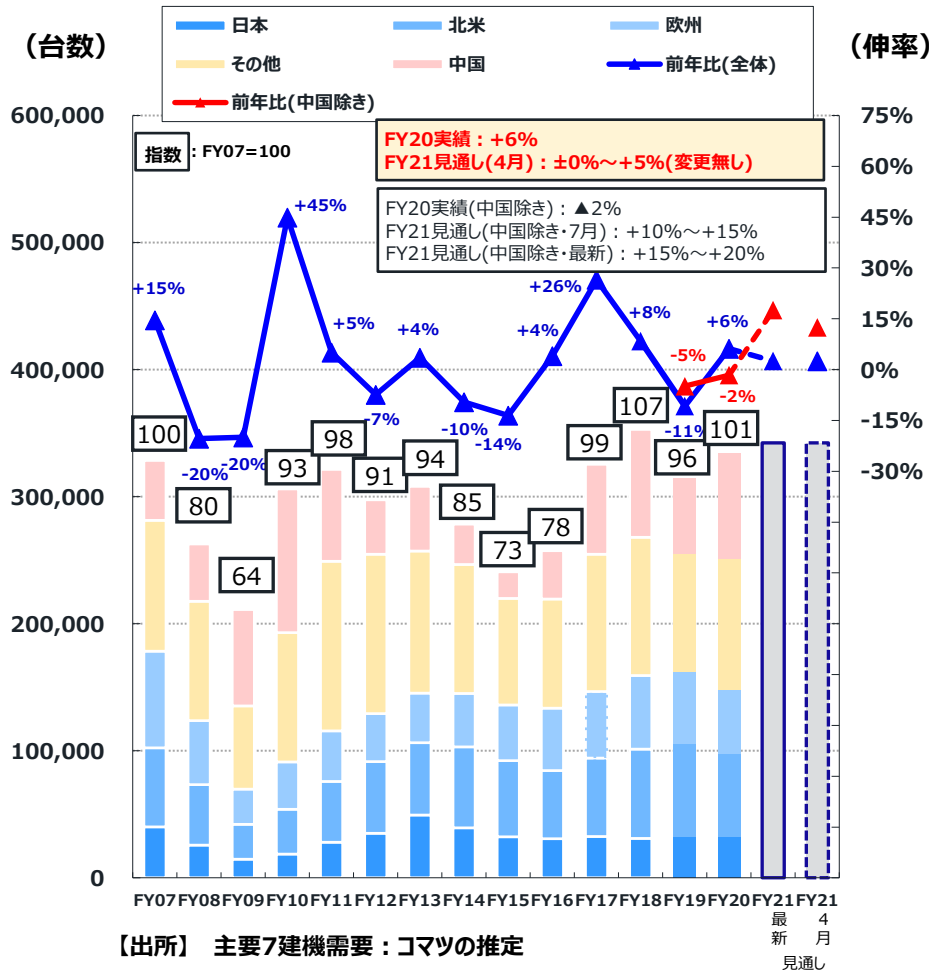
売上高の内訳

売上高の内訳 (億円)	2020年度	2021年度 (最新見通し)	2021年度 (4月見通し)	前年比	
				増減	増減率
コマツ産機	500	521	489	+21	+4.3%
コマツNTC	302	409	410	+107	+35.4%
ギガフォトン	412	513	442	+101	+24.6%
その他	497	435	406	▲62	▲12.5%
合計	1,712	1,880	1,750	+167	+9.8%

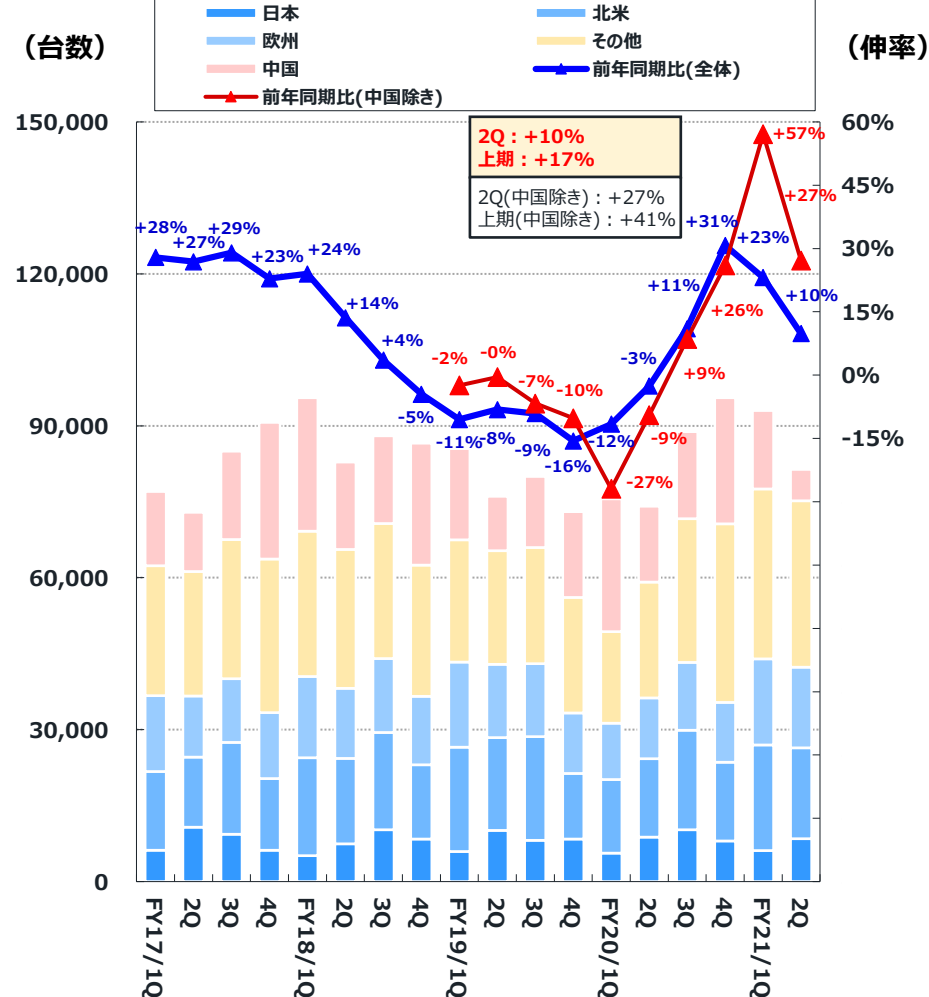
＜建設機械・車両＞ 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比+10%増加。中国を除く地域では前年同期比+27%の増加。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- ・中国を除く地域では前年比+15%～+20%へ見直し。7月見通しに対し、北米、欧州、東南アジア等での需要増加を織り込み。

主要7建機 年度別需要推移



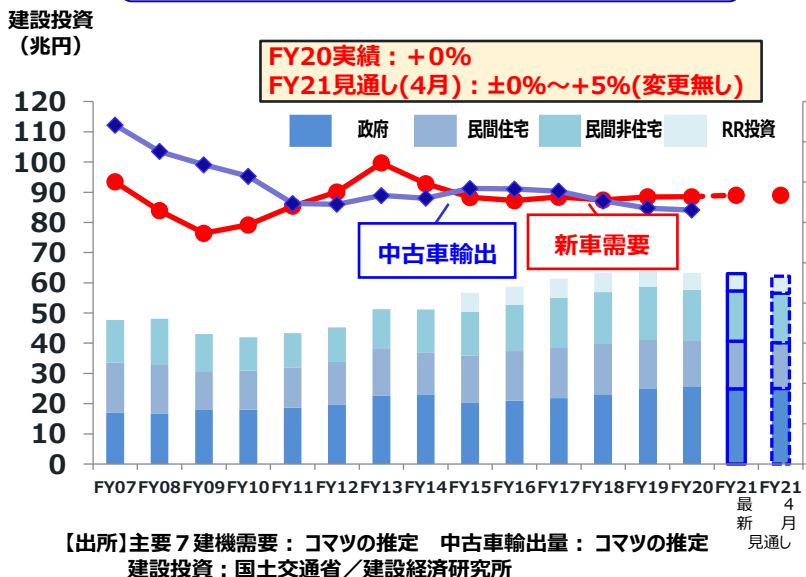
主要7建機 四半期別需要推移



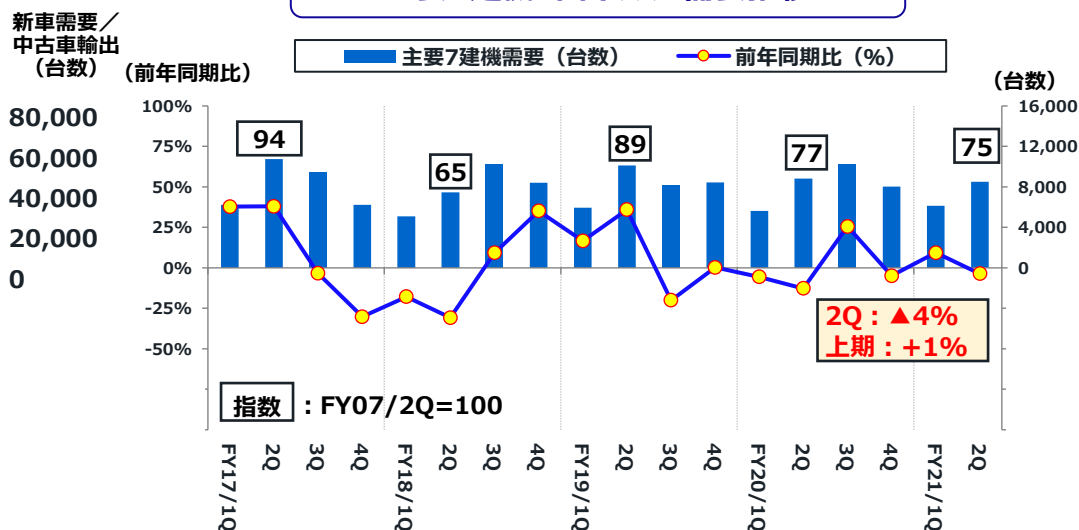
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比▲4%減少。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

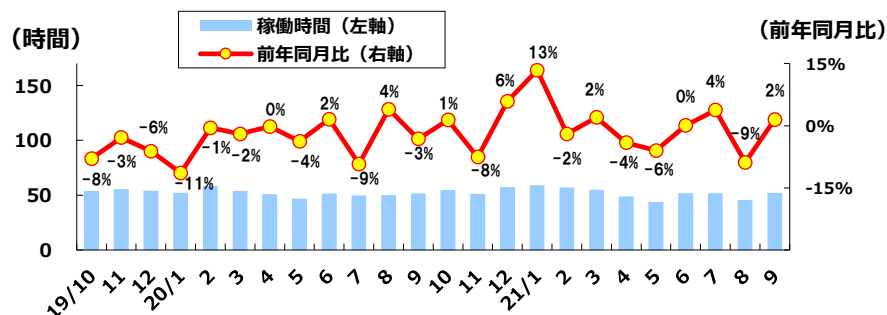
新車需要（主要7建機）と建設投資



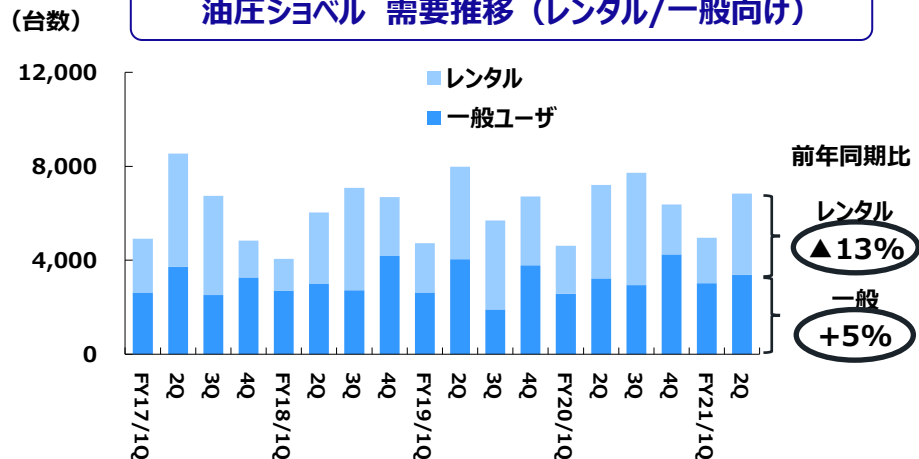
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax（日本）月平均稼働時間推移



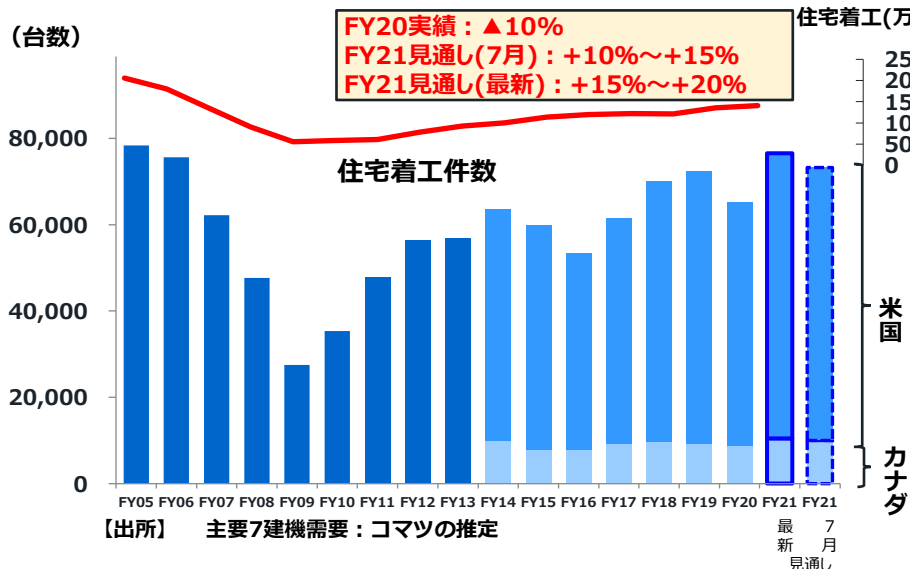
油圧ショベル 需要推移（レンタル/一般向け）



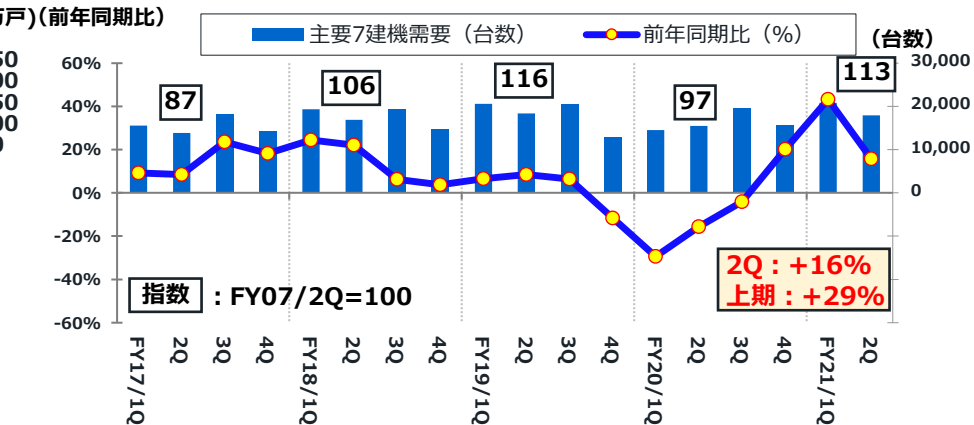
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比+16%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+15%～+20%へ見直し。
- ・住宅・非住宅、道路交通向けが堅調に推移、レンタル向けも回復が続く。

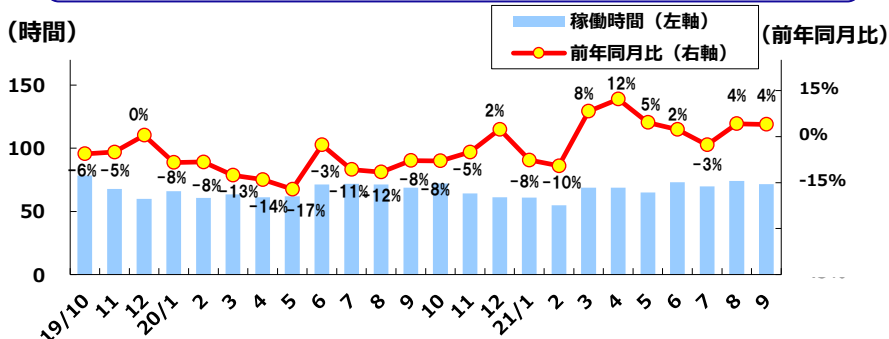
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



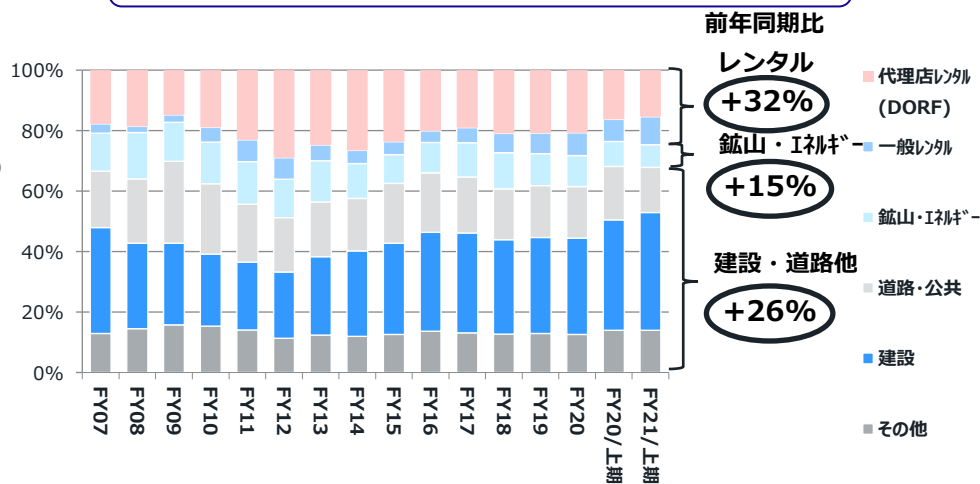
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



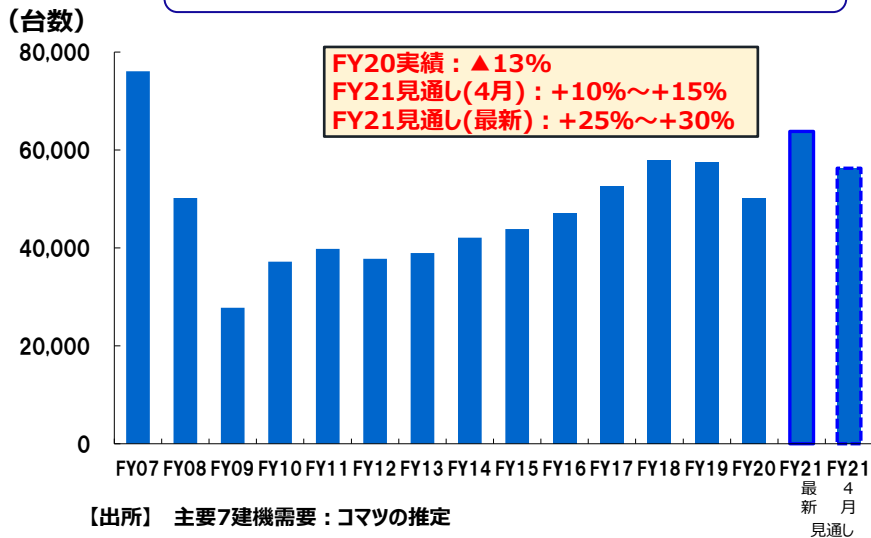
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



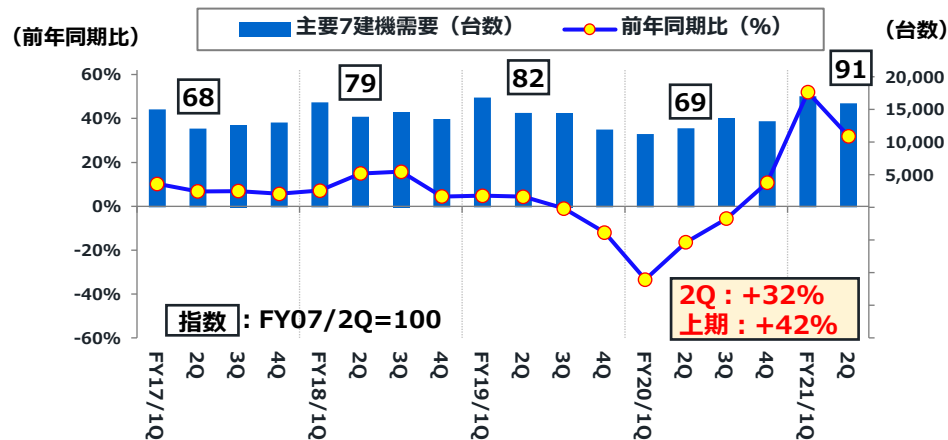
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ③ 欧州

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比+32%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+25%～+30%へ見直し。
- ・英仏独など主要国を中心に需要が回復。

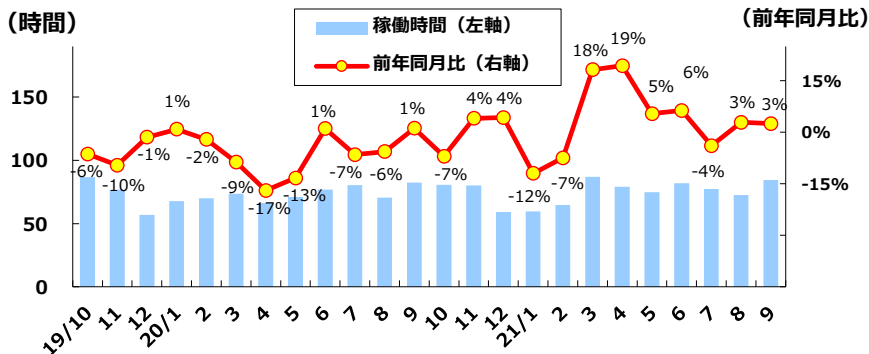
主要7建機 年度別需要推移



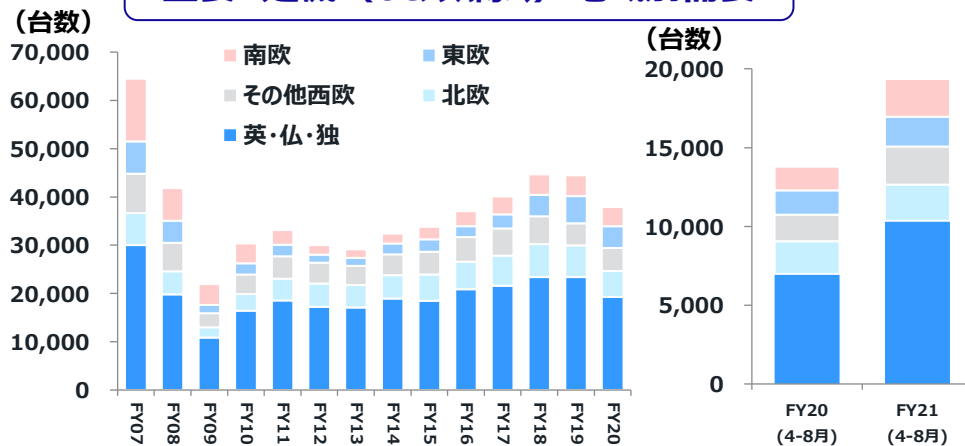
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (欧州) 月平均稼働時間推移



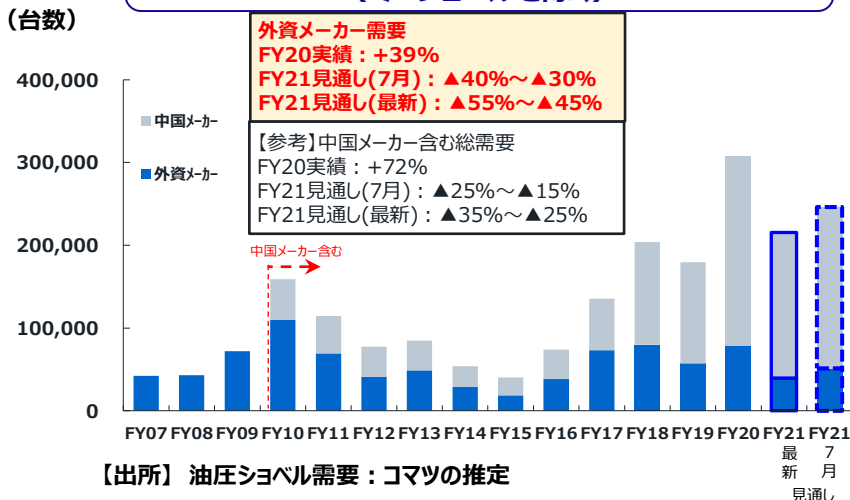
主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



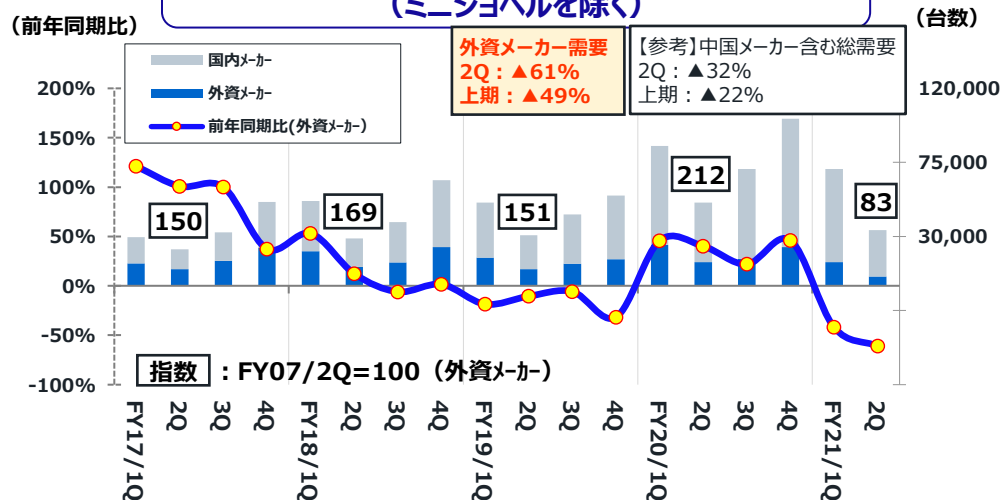
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：④ 中国

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比▲61%減少。
- ・2021年度の需要は、前年比▲55%～▲45%へ見直し。
- ・建設投資の鈍化や春節明けのセールスシーズンずれ込みの影響が無くなること等により前年比マイナス。

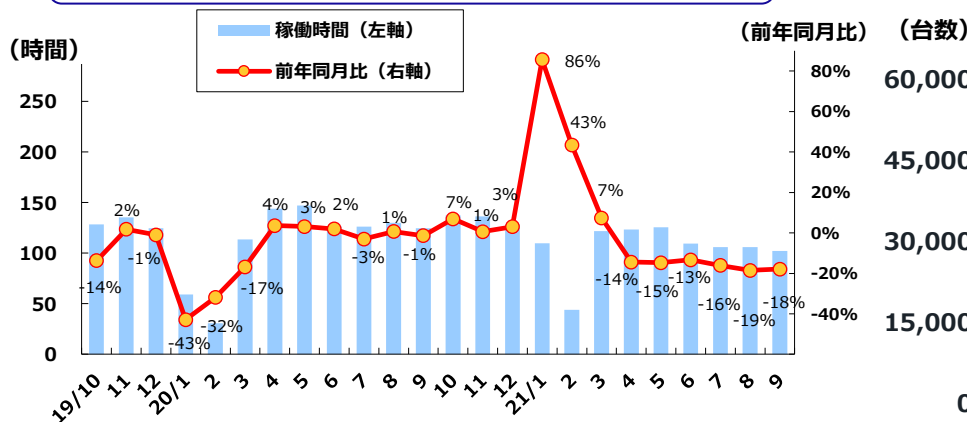
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



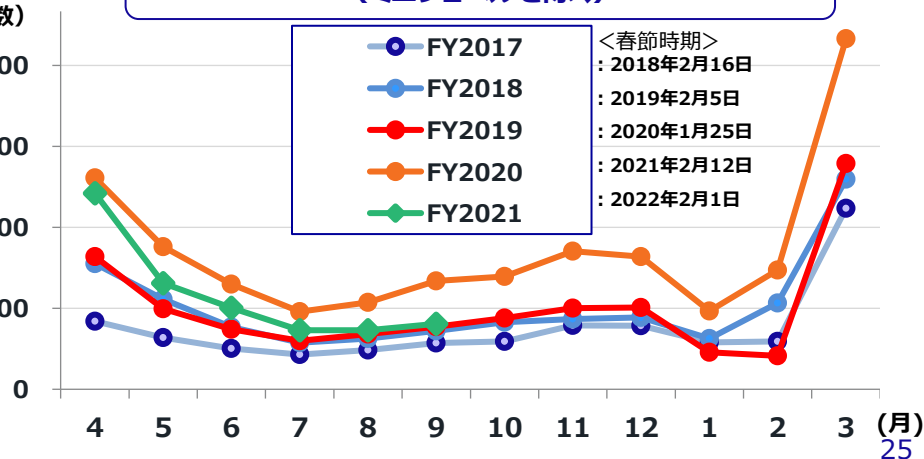
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



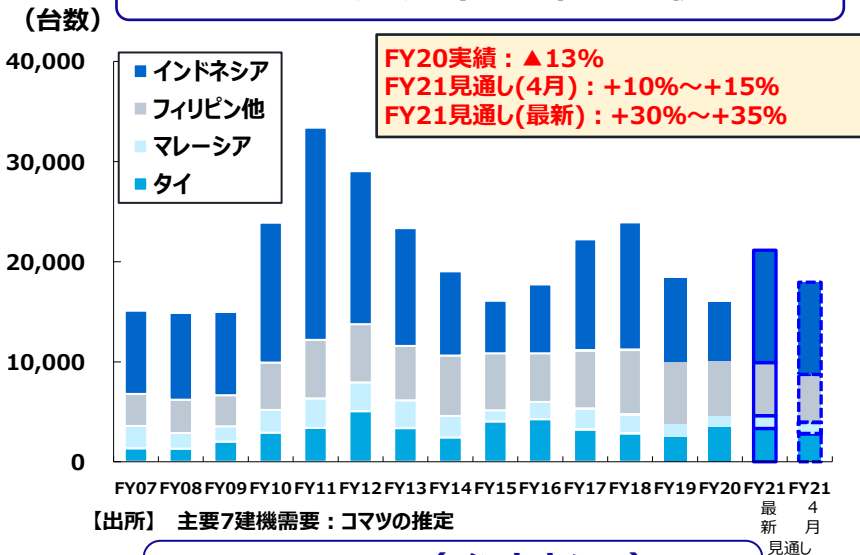
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



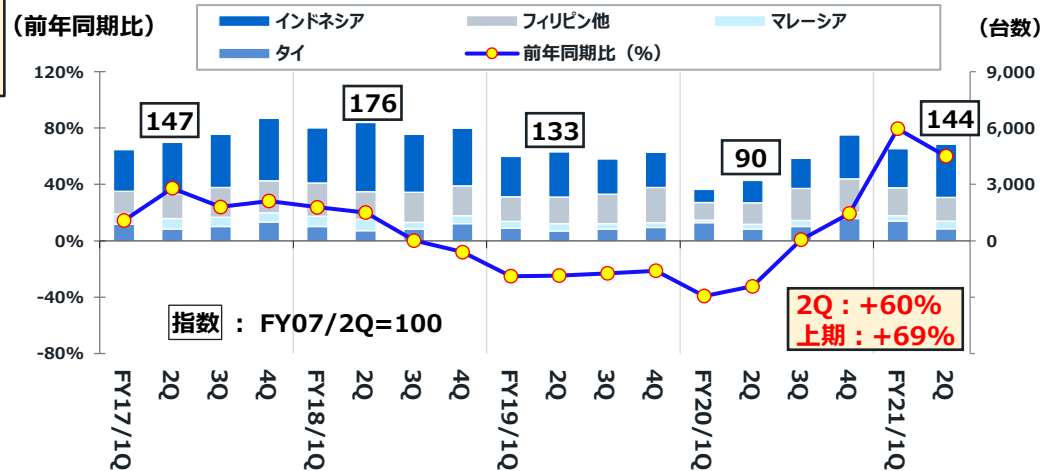
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比+60%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+30%～+35%へ見直し。
- ・最大市場のインドネシアをはじめ、大半の地域で需要が回復。

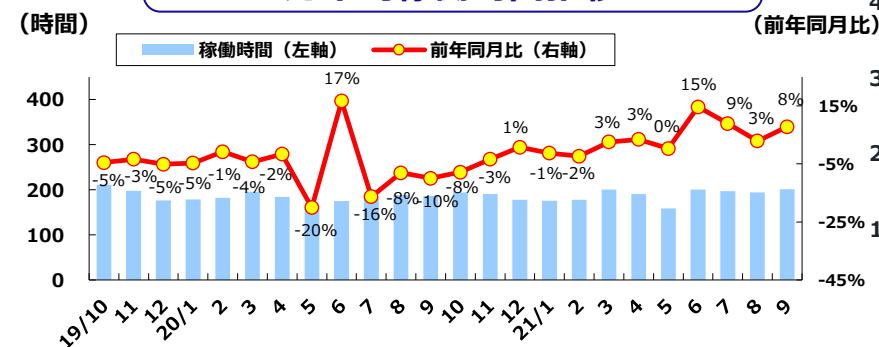
主要7建機 年度別需要推移



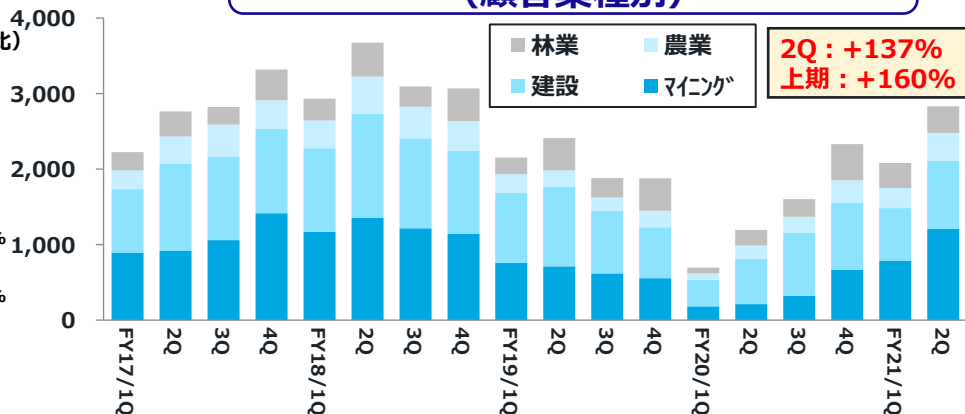
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (インドネシア) 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



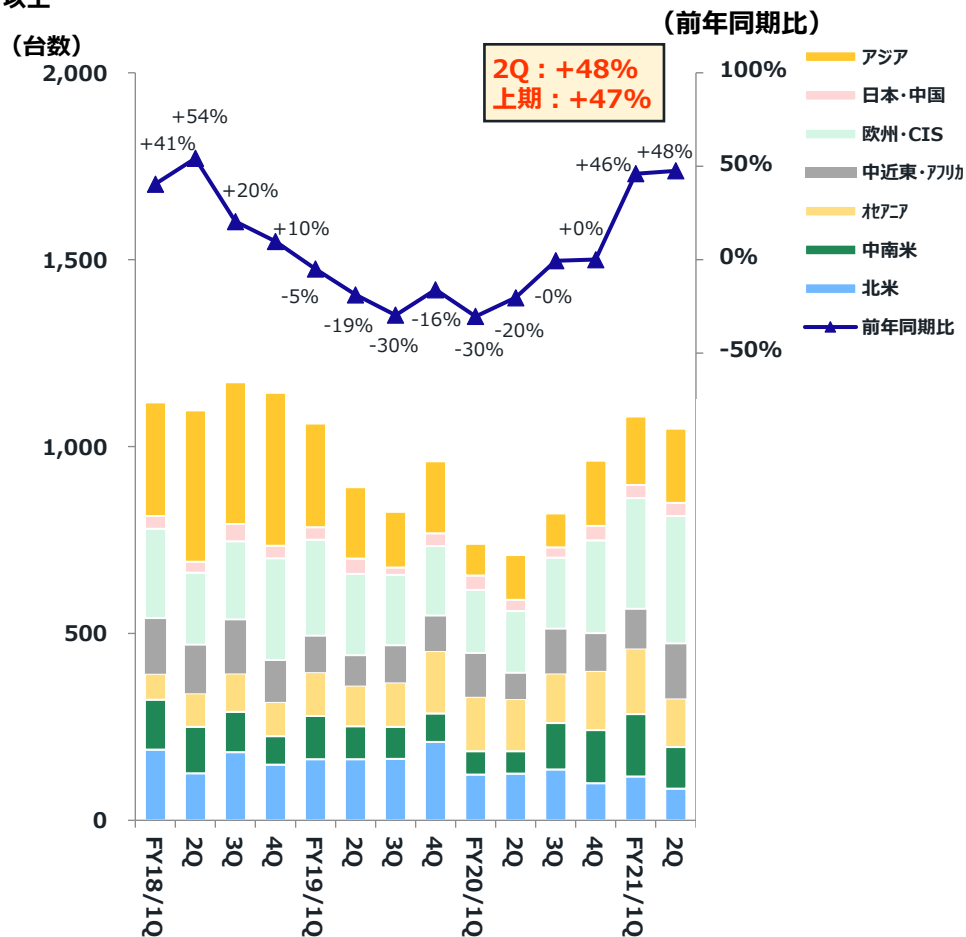
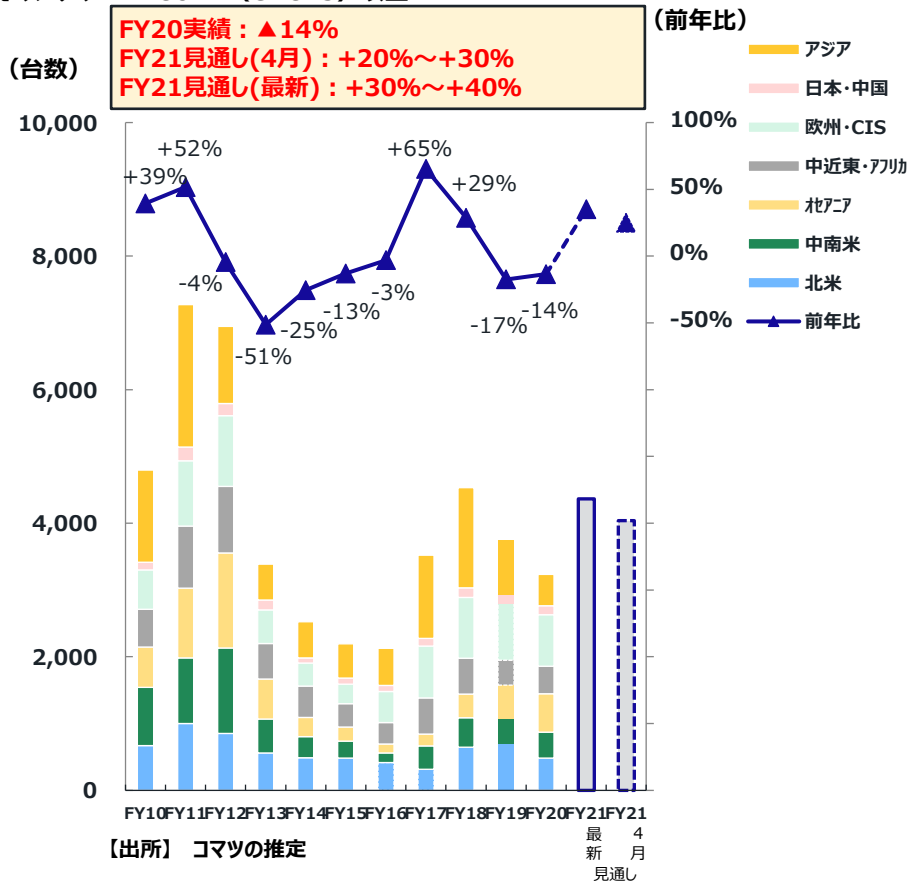
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2021年度第2四半期の需要は、前年同期比+48%増加。
- ・2021年度の需要は、主にオセアニア、中南米、CIS、アジアで増加し、前年比+30%～+40%へ見直し。

鉱山機械 年度別需要推移

鉱山機械 四半期別需要推移

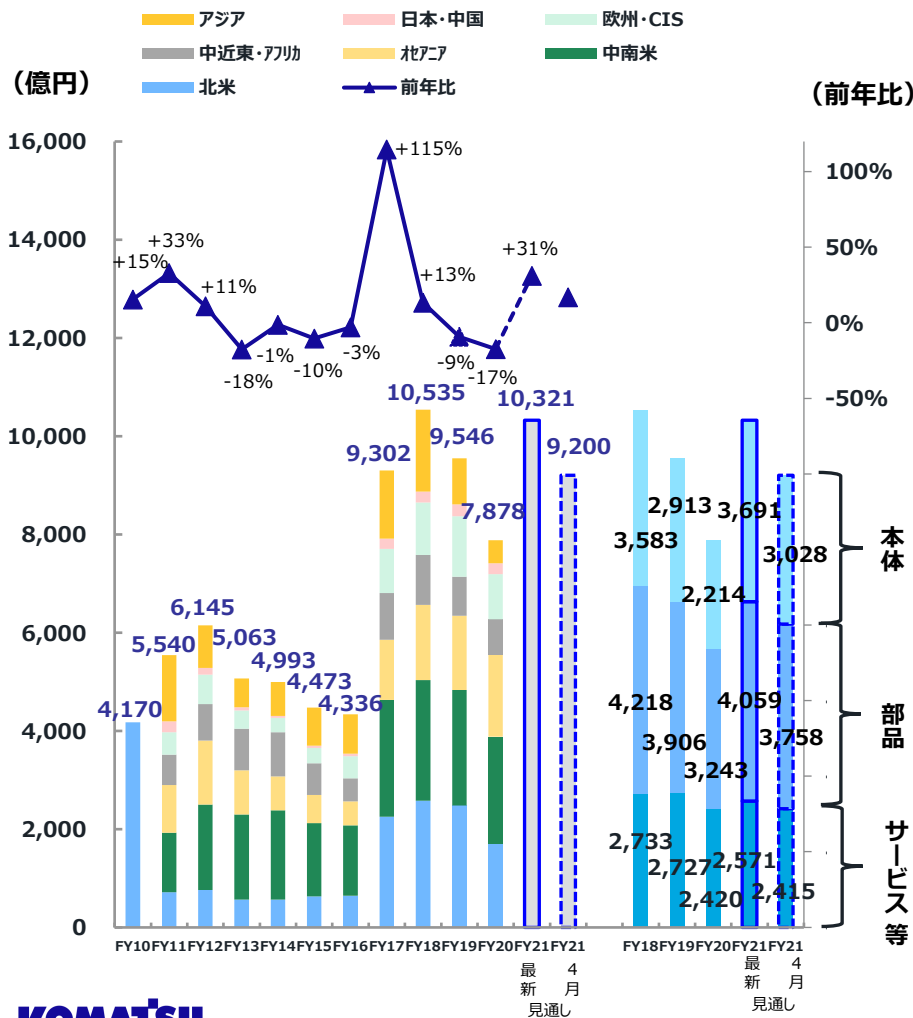
- ・タンクトラック：75 t (HD785) 以上
- ・フルパワー：525HP (D375) 以上
- ・エクスカベータ：200 t (PC2000) 以上
- ・ホイローラー（機械駆動）：810HP (WA800) 以上
- ・モーターレーダー：280HP (GD825) 以上



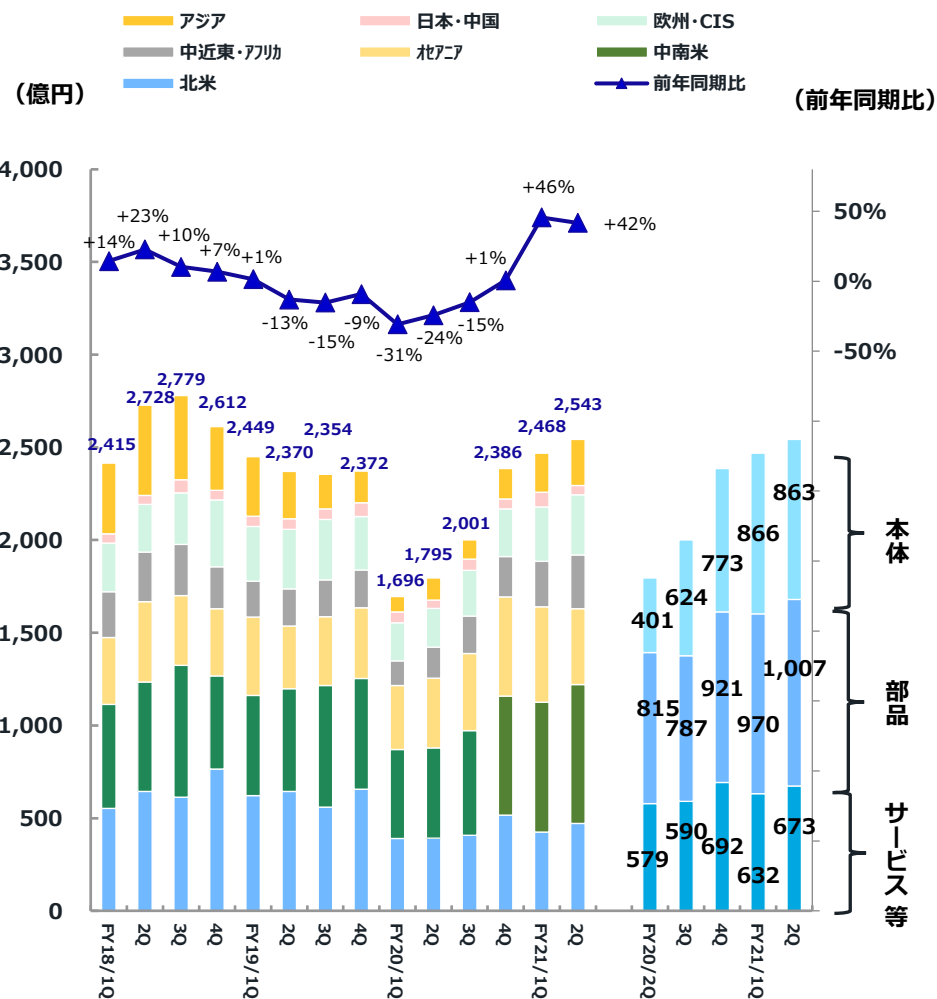
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2021年度第2四半期の売上高は、前年同期比+42%増収の2,543億円。
- ・2021年度の売上高の見通しは前年比+31%増収の10,321億円。
- ・為替の影響も含め、最新の状況を織り込み見通しを修正。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)



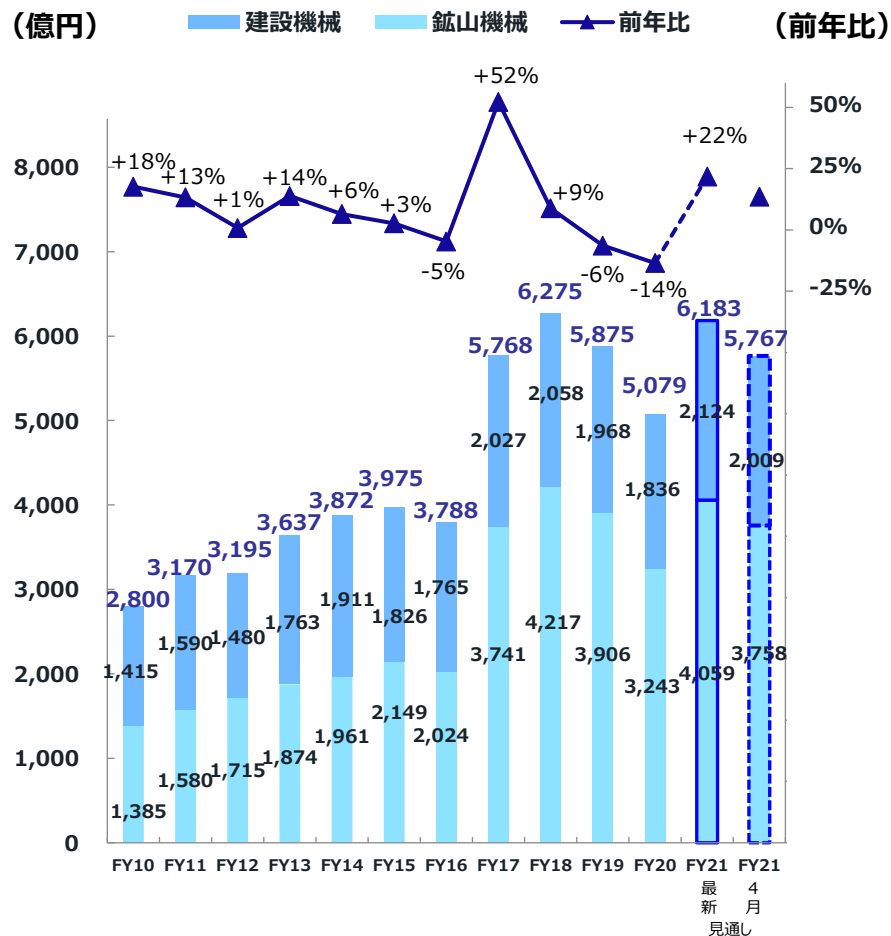
鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)



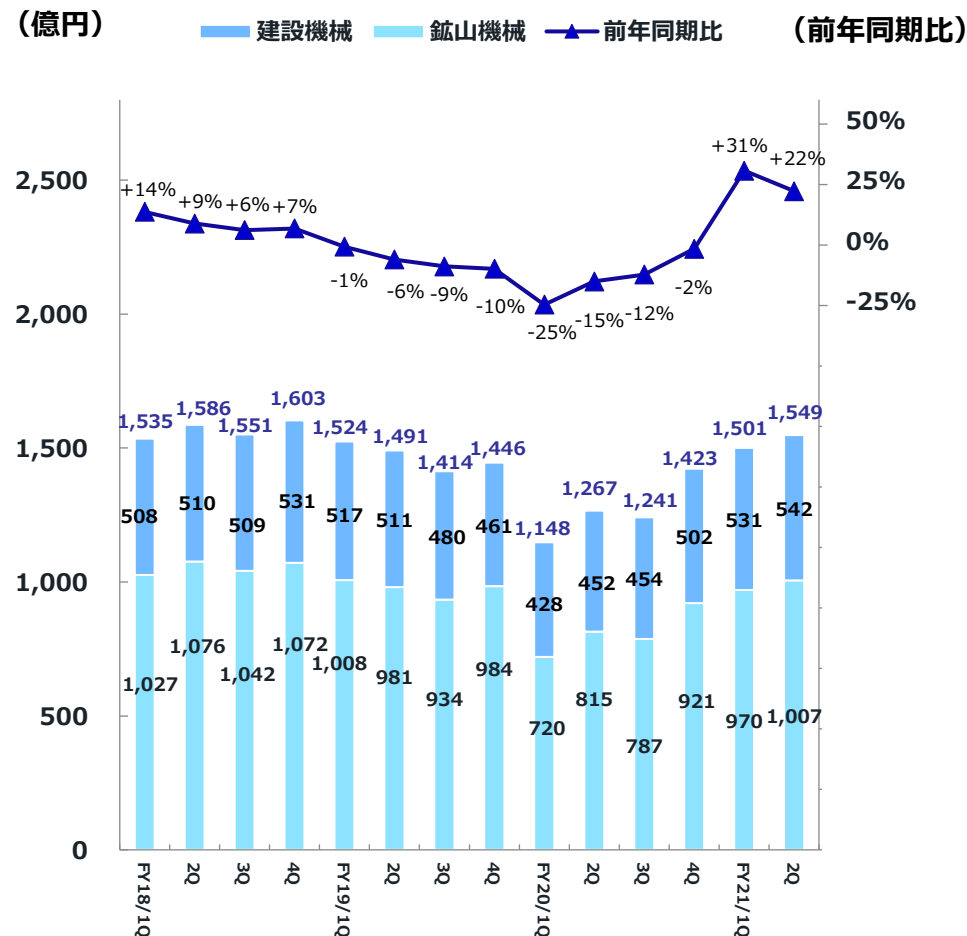
＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2021年度第2四半期の部品売上高は、前年同期比+22%増収の1,549億円。
- ・2021年度の部品売上高の見通しは前年比+22%増収の6,183億円。
- ・為替の影響も含め、最新の状況を織り込み見通しを修正。

部品 年度別売上高



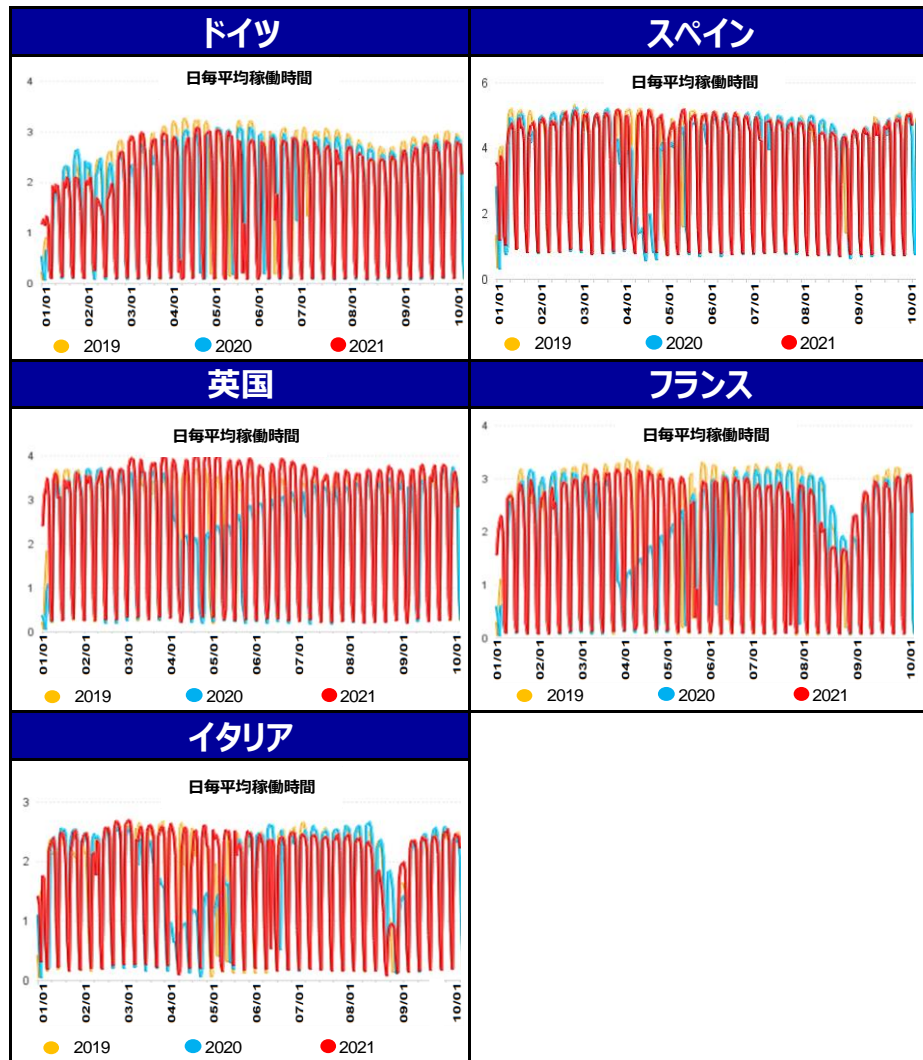
部品 四半期別売上高



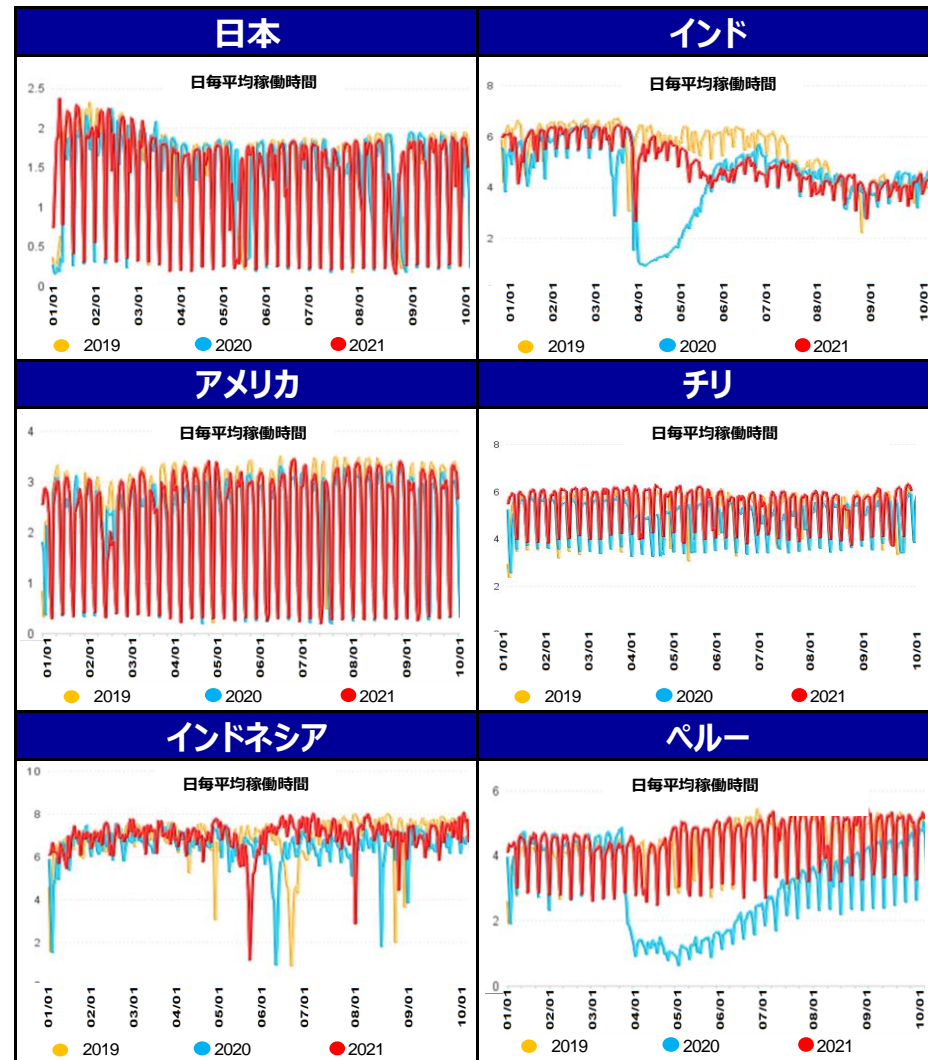
参考資料

【参考資料】Komtrax日次平均稼働時間推移

欧州主要国



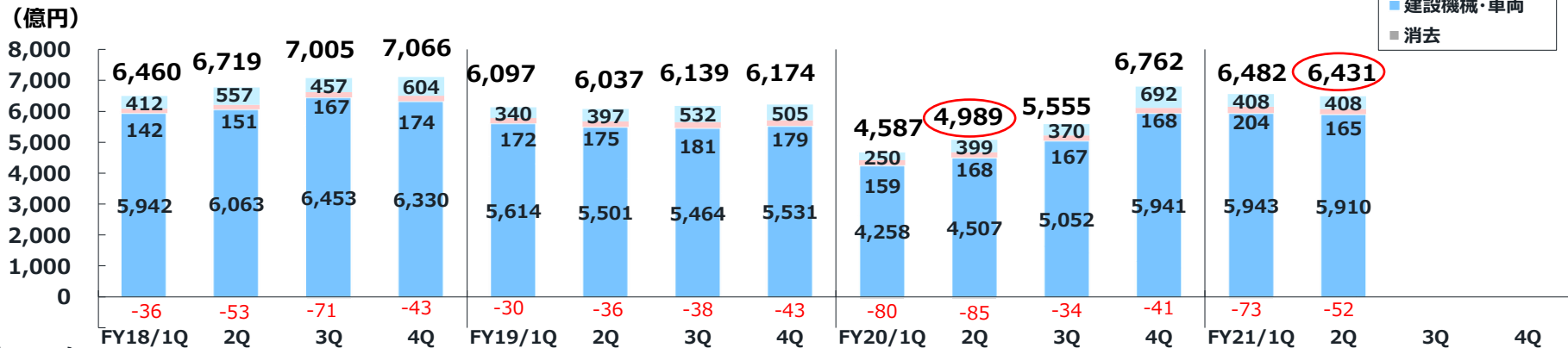
その他主要地域



日次平均稼働時間:Komtraxを搭載した当社製建設機械の一台当たり一日平均稼働時間

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

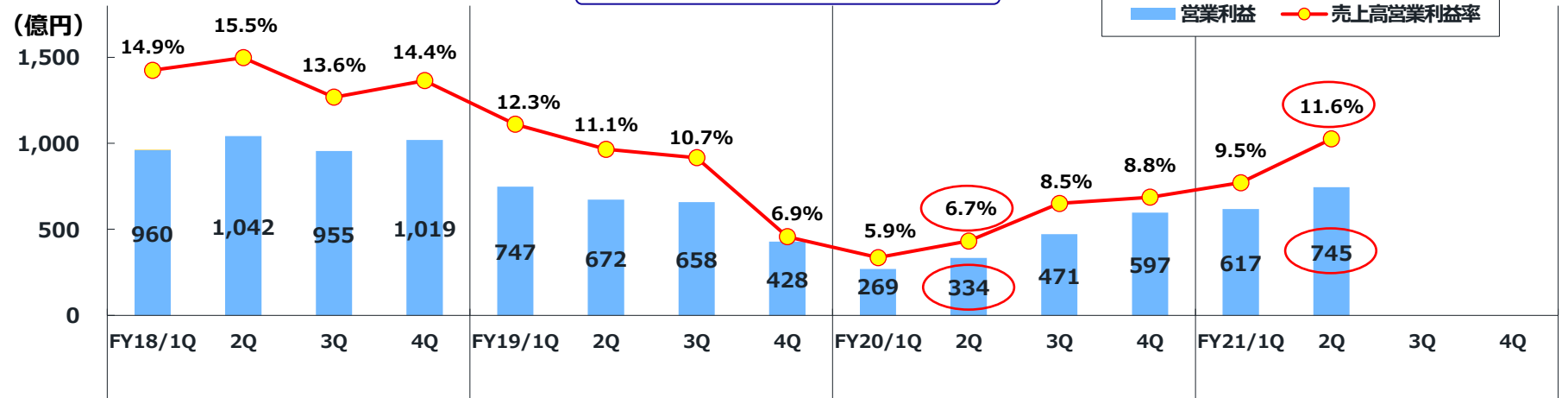
連結売上高 (FY18~)



為替
レート

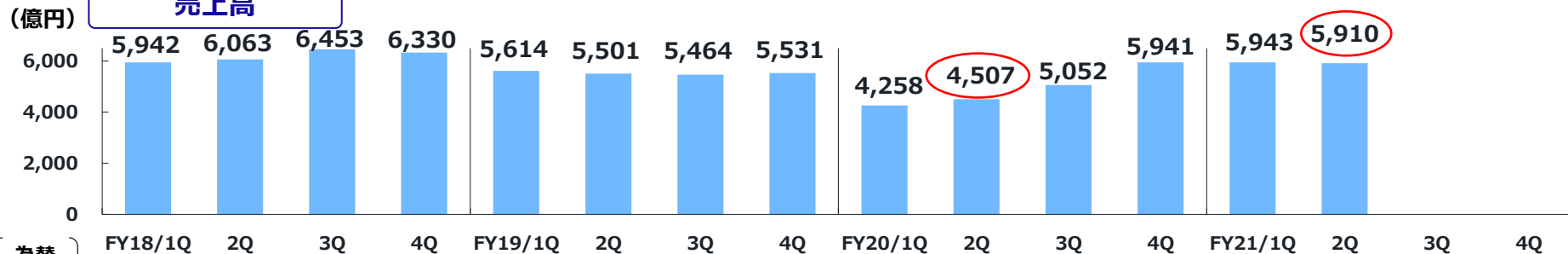
	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3		
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6		
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1		

営業利益 (FY18~)

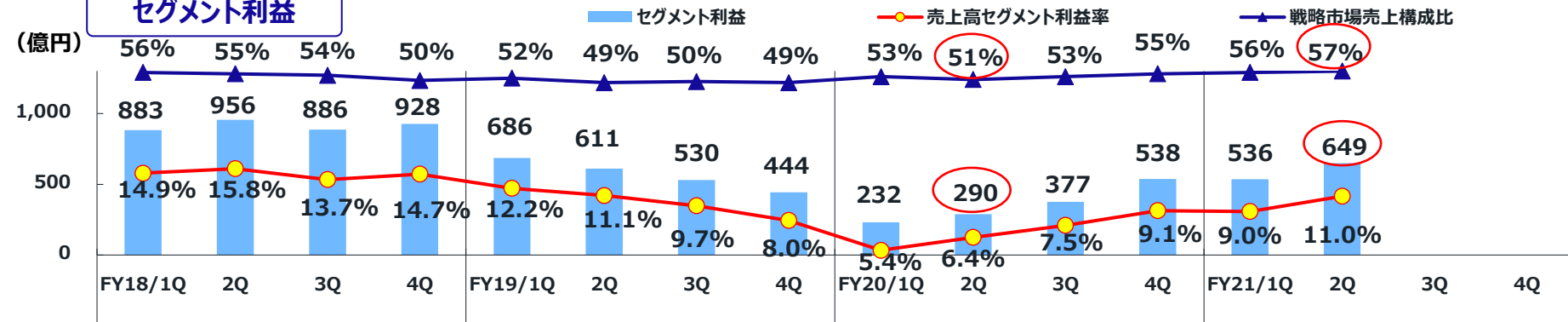


【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

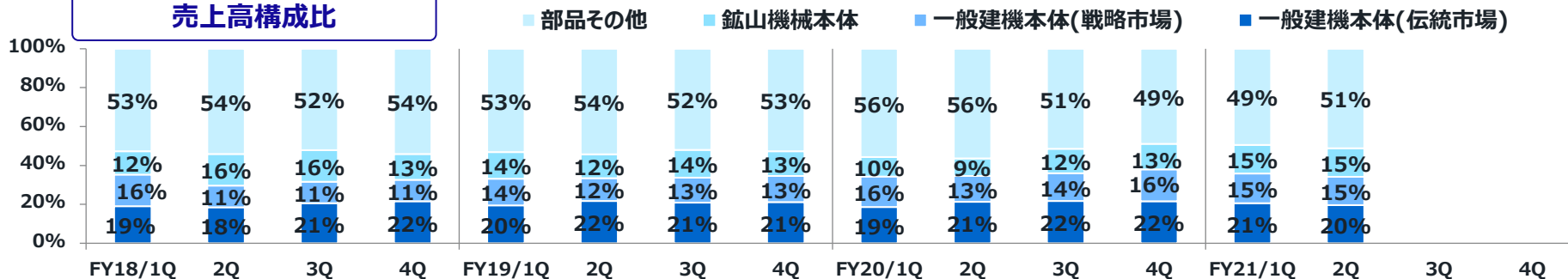
売上高



セグメント利益

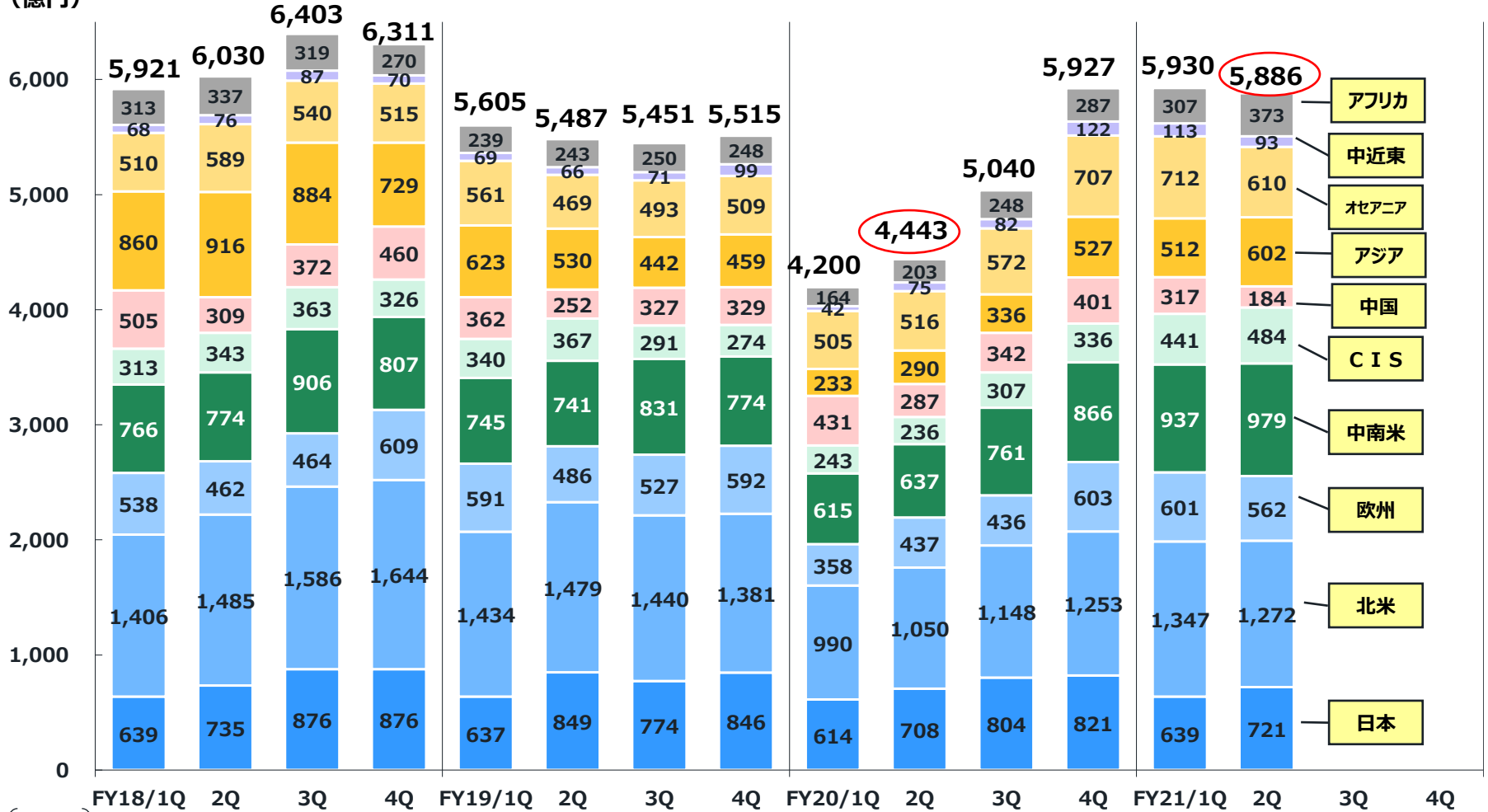


売上高構成比



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

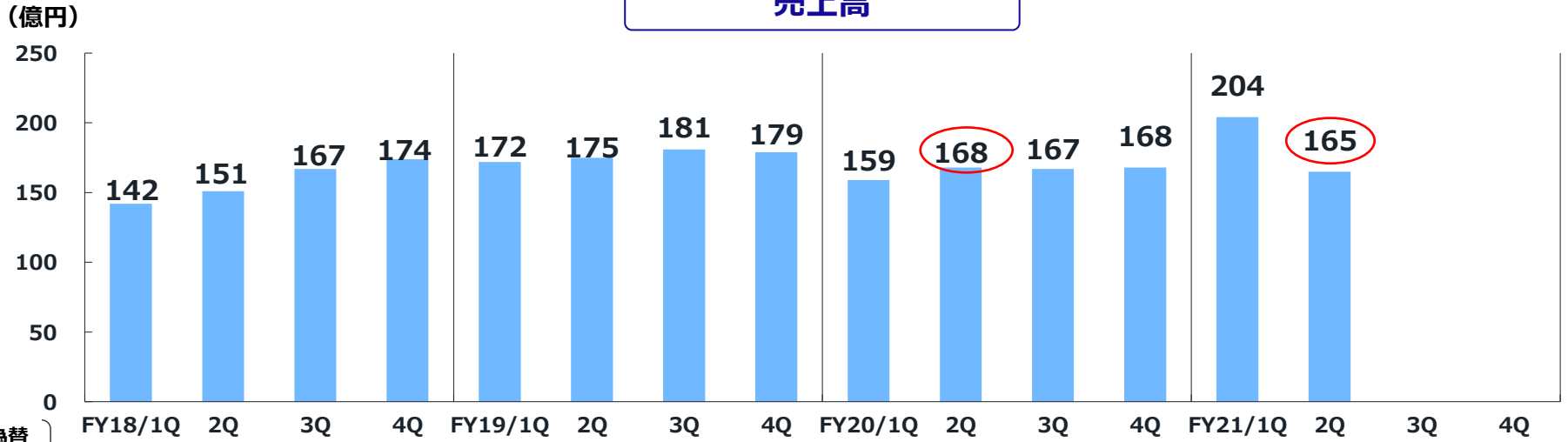
(億円)



為替レート	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3		
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6		
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1		

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

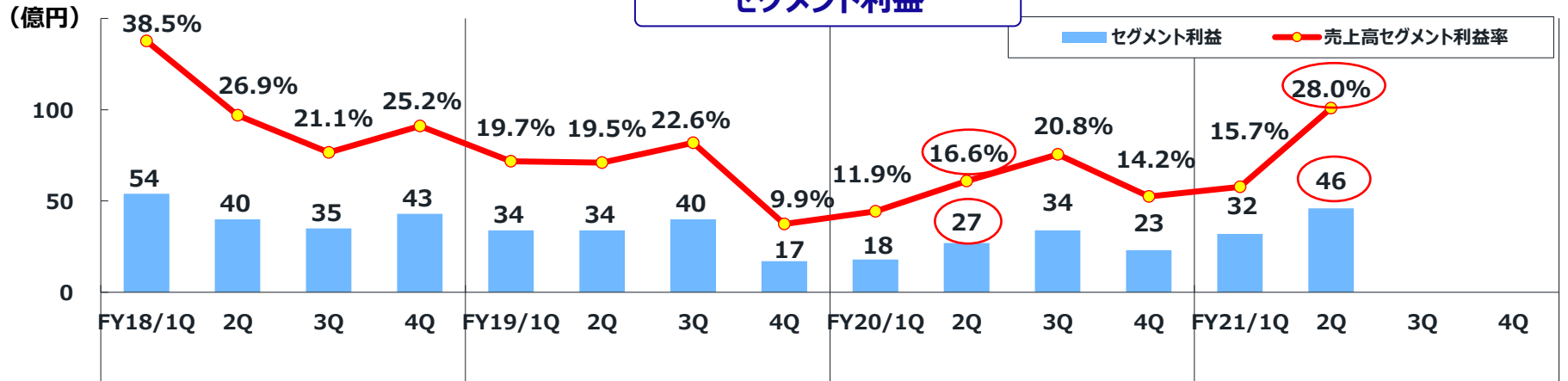


為替
レート

¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3		
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6		
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1		

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3		
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6		
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1		

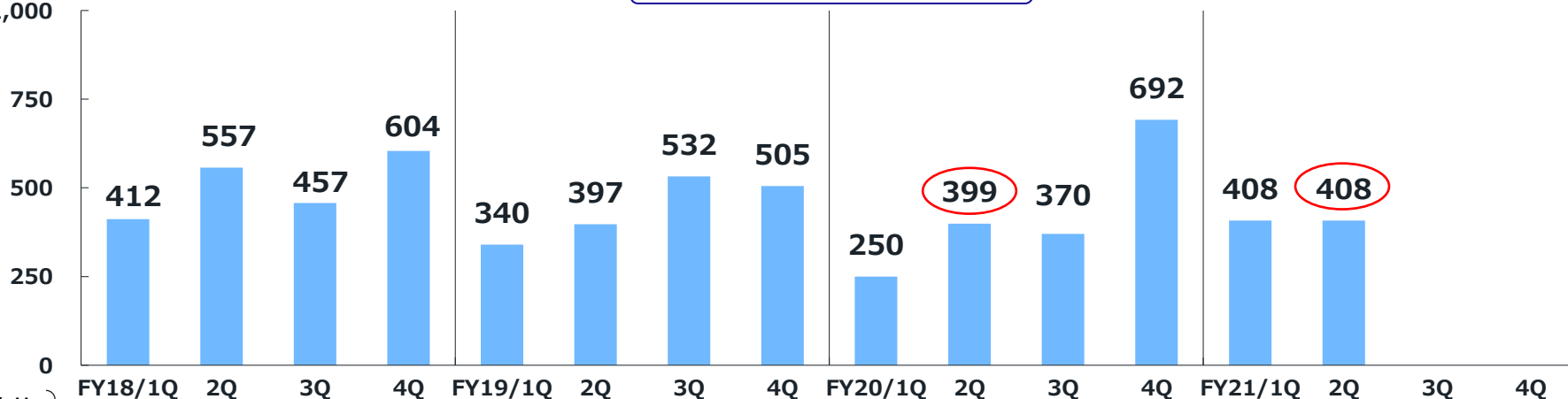
セグメント利益



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)
1,000

売上高

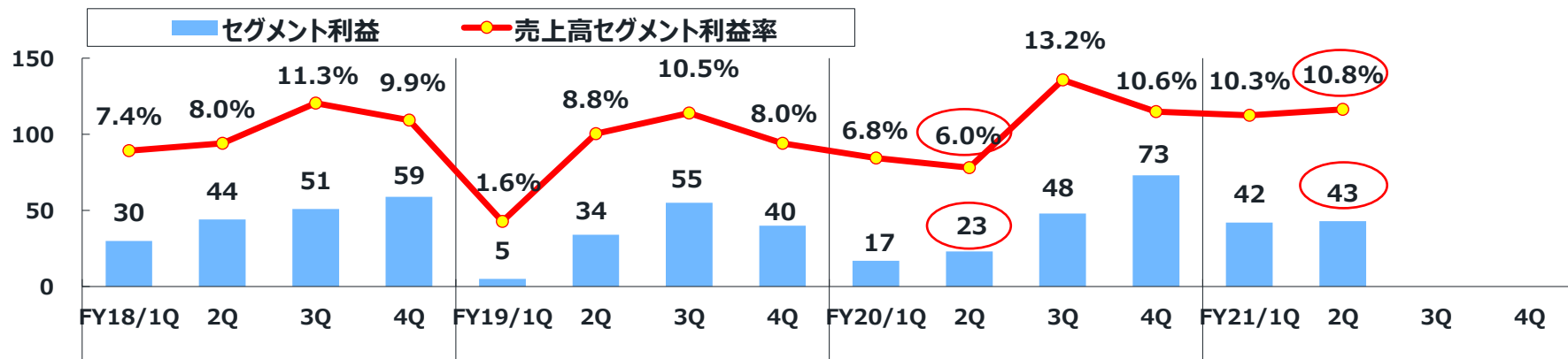


為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3		
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6		
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1		

(億円)

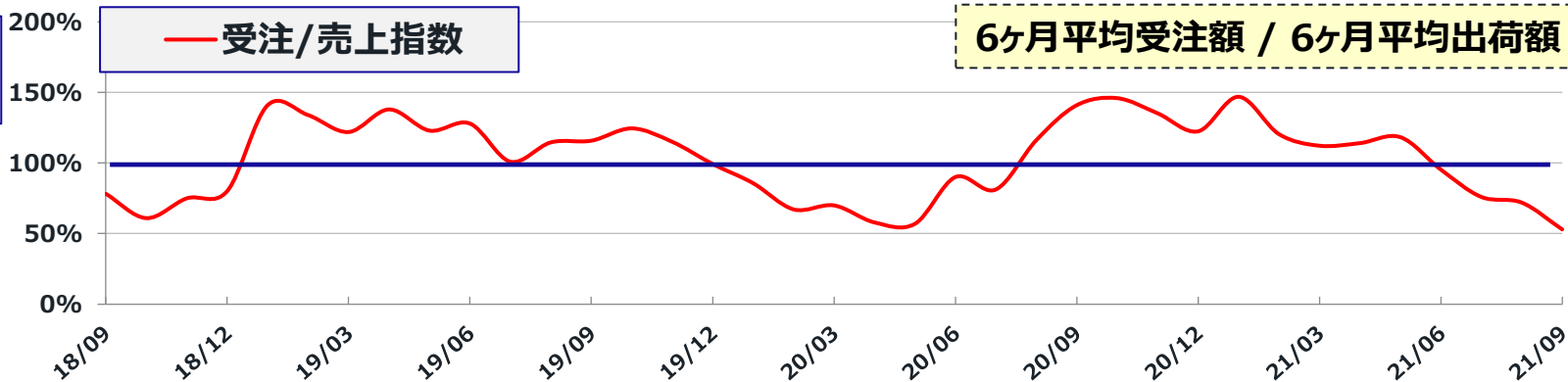
セグメント利益



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

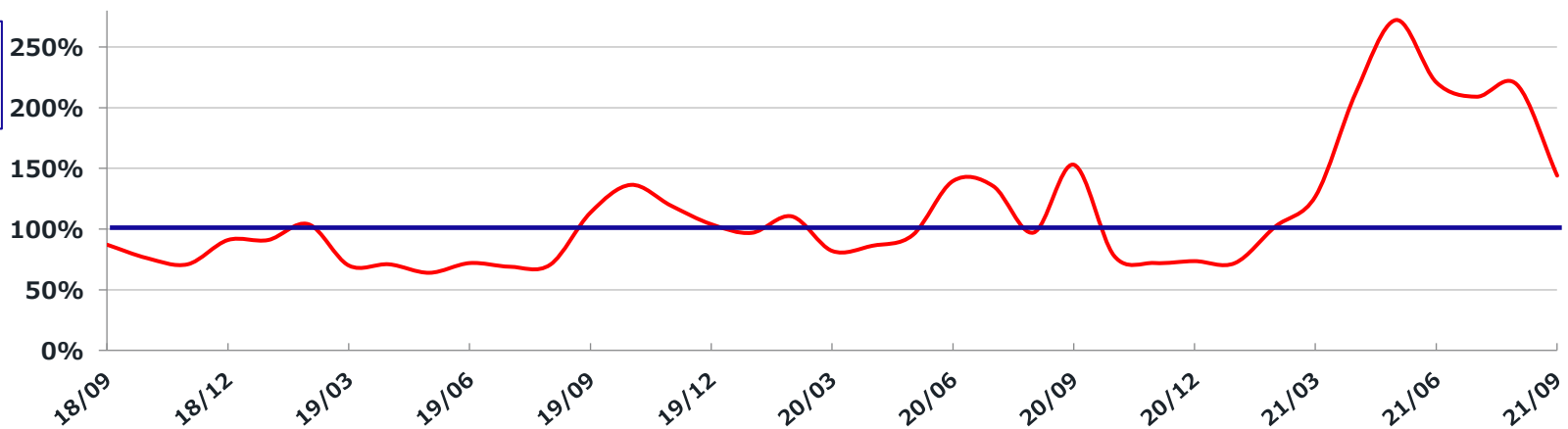
コマツアメリカ (マイニング)

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



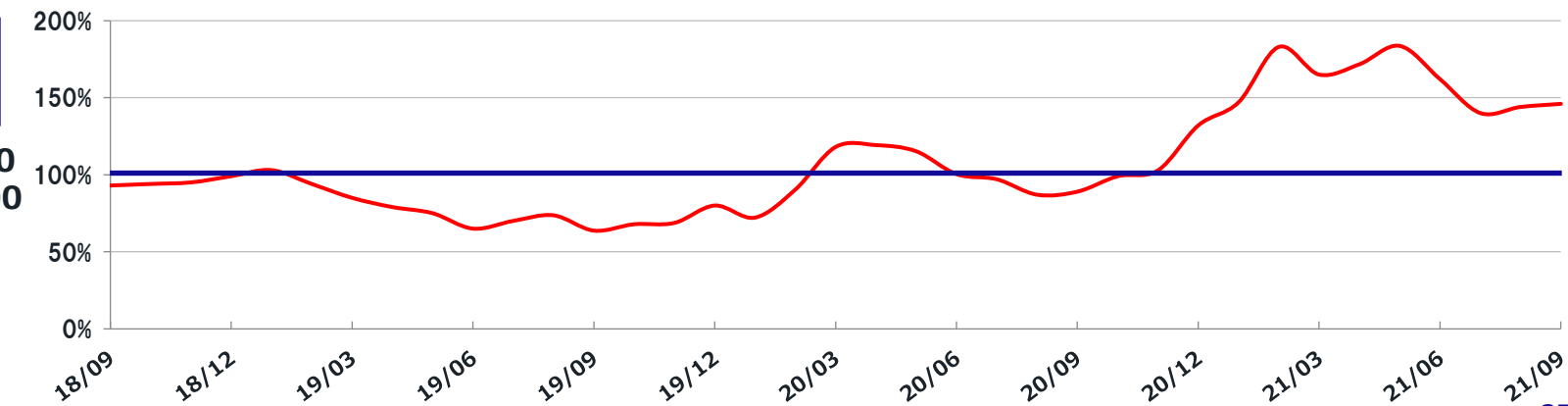
コマツドイツ (マイニング)

PC3000
PC4000
PC5500
PC7000
PC8000



コマツ単独 (マイニング)

HD785, HD1500
PC2000, PC3000
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up



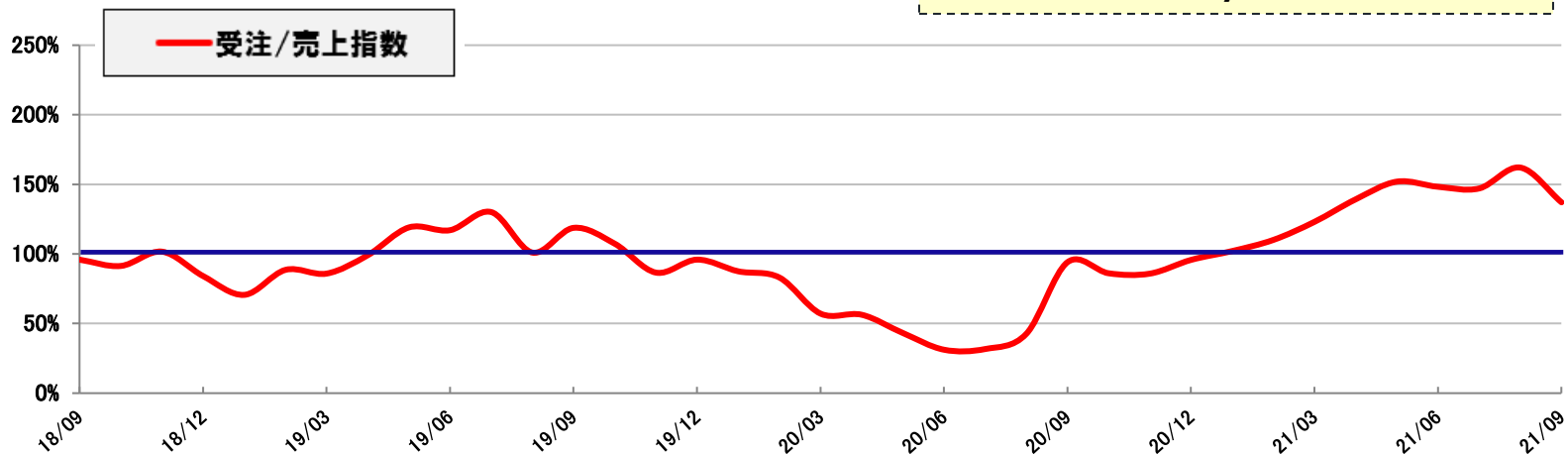
【参考資料】Bレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

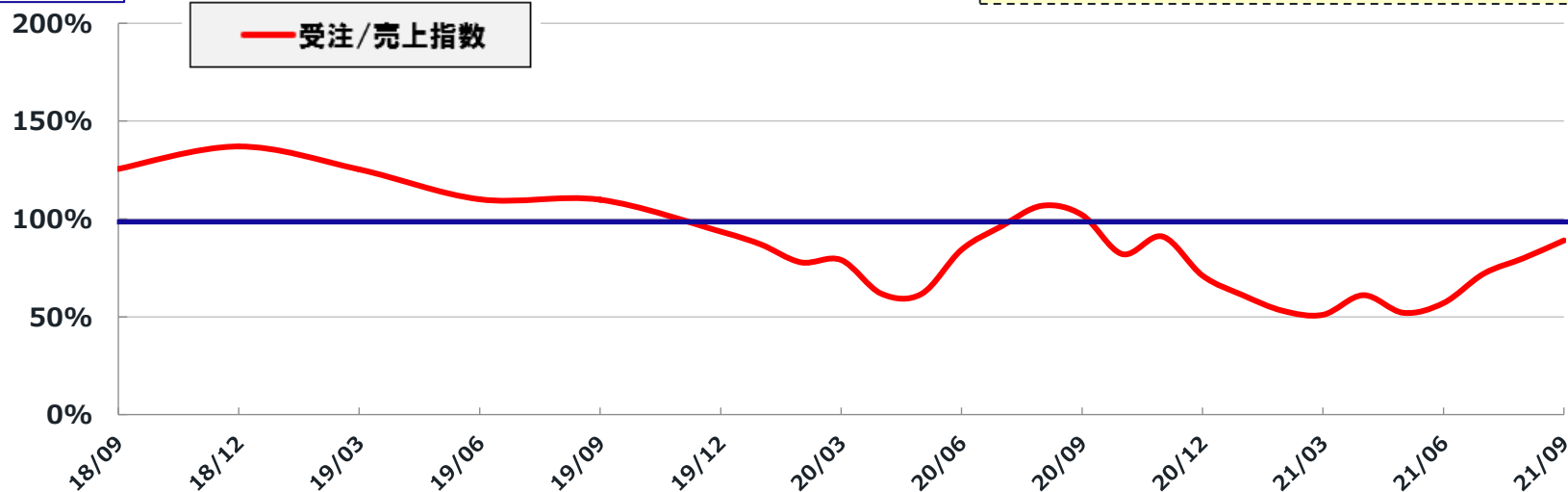
<坑内掘り>
コンティニューアスマイナ
シアラー
ロードホールダンブ
ドリルジャンボ他



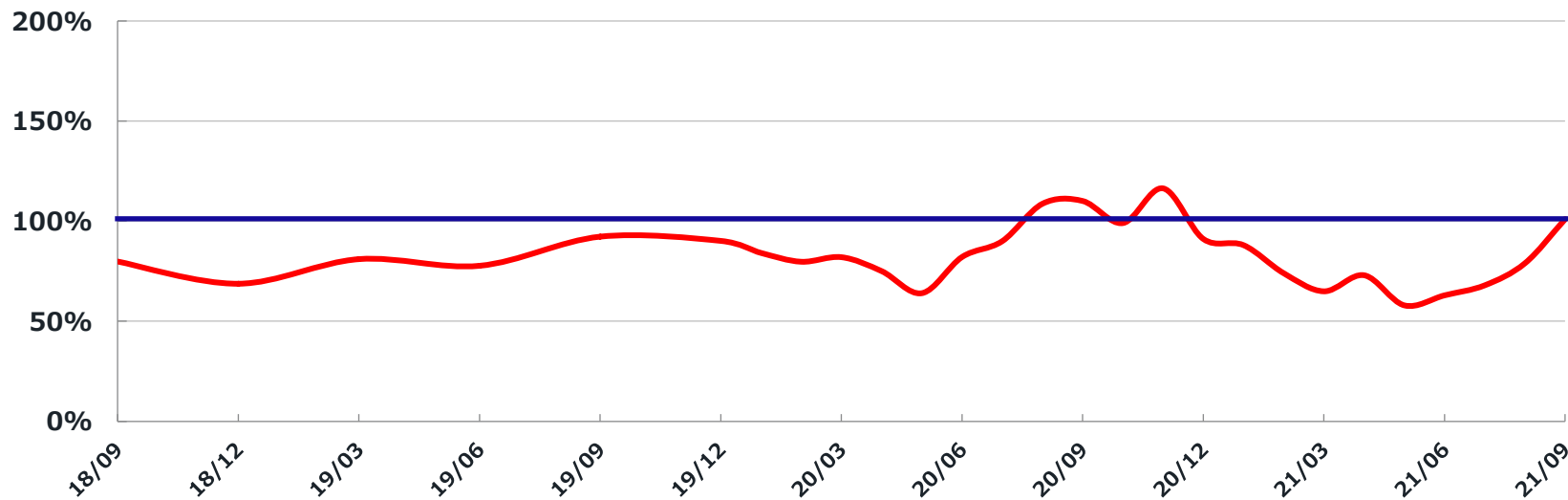
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

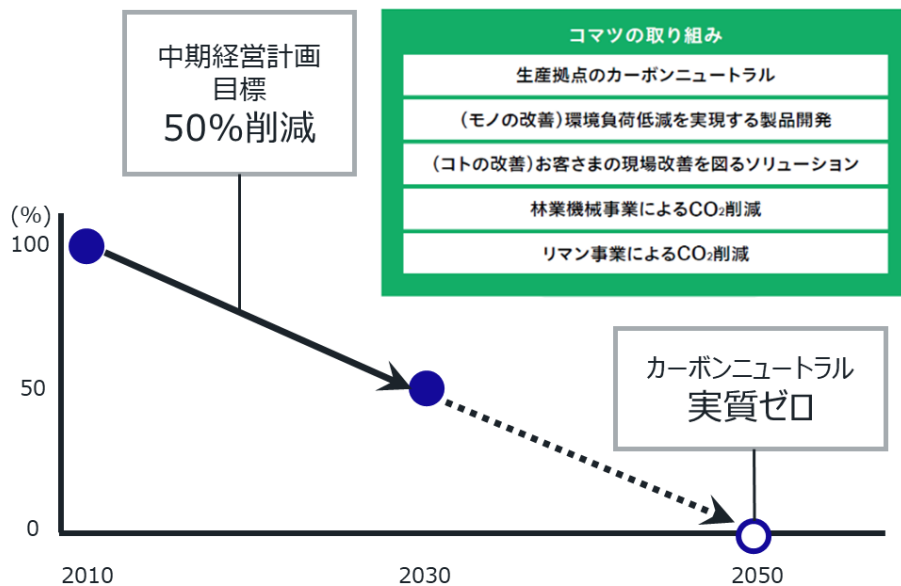


コマツNTC



2050年のカーボンニュートラル実現へ向けて宣言

・9月発行の統合報告書「コマツレポート2021」にて、2050年までにCO2排出を実質ゼロとするカーボンニュートラルに向けた取り組みに関する長期ビジョンを新たに掲げました。



カーボンニュートラルによるビジネス・オポチュニティを見極め、コマツの成長戦略に結びつける。

・コマツフォレスト（スウェーデン・ウメオ）に新工場を竣工、生産を開始しました。
・太陽光や地熱の再エネ活用など、電力使用量を大幅に削減し、コマツの生産工場として初めてカーボンニュートラルを実現しました。



新工場および太陽光パネル



AGV（Automated Guided Vehicle）
を活用した自動牽引組み立てライン

（2021年8月18日 ニュースリリース）

欧州初、Boliden社アイティク銅鉱山(スウェーデン)へ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) を導入

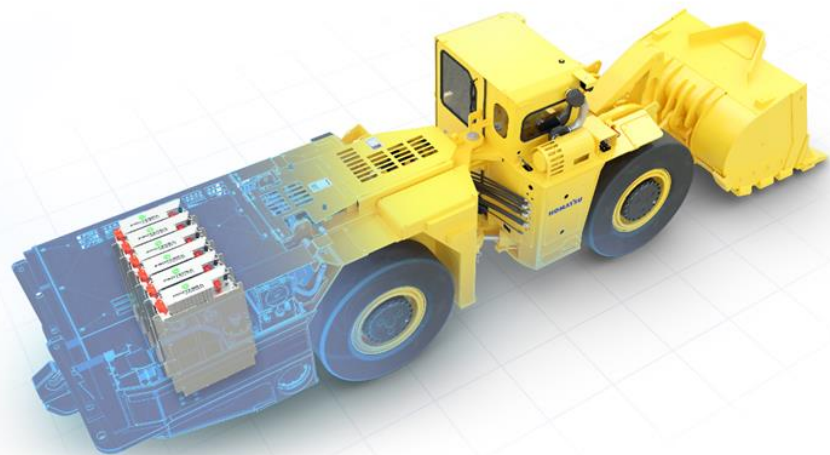
- ・スウェーデンの資源大手Boliden社が保有する欧州最大級のアイティク銅鉱山(スウェーデン)向けに、コマツとして欧州では初めてとなる無人ダンプトラック運行システムを導入し、超大型ダンプトラック930E-5計11台が稼働予定です。



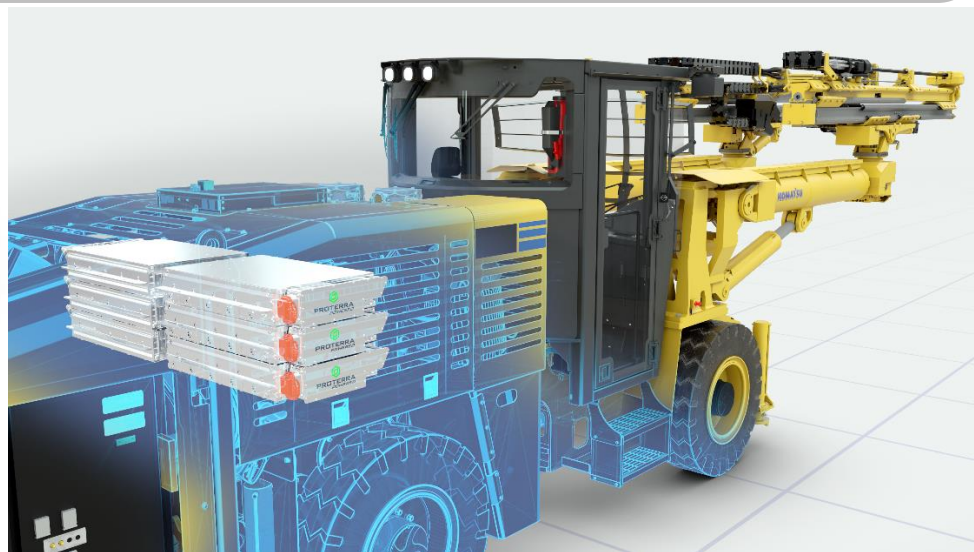
写真：アイティク銅鉱山で稼働する有人の超大型ダンプトラック（提供 Boliden）

坑内掘りハードロック向け鉱山機械を電動化 —米国プロテラ社との2つ目の協業を発表—

- ・坑内掘りハードロック向け鉱山機械の電動化の実現に向け、米国のプロテラ社よりリチウムイオンバッテリーシステムの供給を受ける協業契約を締結しました。
- ・坑内掘りハードロック向けの鉱山機械であるバッテリーLHD（ロードホールダンプ）、ドリル（ドリルジャンボ）、ボルタ（ロックボルト打設機）の電動化開発を進め、21年度より順次試作機の完成、22年度の量産開始を目指します。○(2021年10月27日 ニュースリリース)



プロテラ社のバッテリーを搭載したバッテリーLHDのイメージ



プロテラ社のバッテリーを搭載したドリルのイメージ

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。